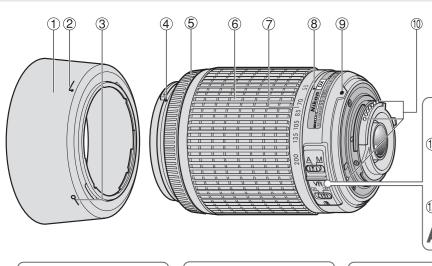
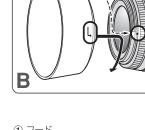
Nikon

AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED

使用説明書
User's Manual
Benutzerhandbuch
Manuel d'utilisation
Manual del usuario
Manuale d'uso
使用說明書
使用说明书

Jp En De Fr Es It Ck Ch

NIKON CORPORATION
FUJI BLDG., 2-3, MARUNOUCHI 3-CHOME, CHIYODA-KU, TOKYO 100-8331, JAPAN
Printed in China TT9J06 (80) 7MAA3480-06

① フード
Lens hood
Gegenlichtblende
Parasoleil
Visera del objetivo

② フード取り付け指標
Lens hood attachment index
Montagemarkierung der Gegenlichtblende
Repère de fixation du parasoleil
Indice de acoplamiento de la visera del objetivo

③ フードセット指標
Lens hood setting index
Kontrollmarkierung der Gegenlichtblende
Repère de réglage du parasoleil
Indice de ajuste de la visera del objetivo

④ フード着脱指標
Lens hood mounting index
Montagemarkierung für Gegenlichtblende
Repère de montage du parasoleil
Indice de montaje de la visera del objetivo

⑤ フォーカスリング
Focus ring
Entfernungseinstellring
Bague de mise au point
Anillo de enfoque

⑥ ズームリング
Zoom ring
Zoomring
Bague de zoom
Anillo de zoom

⑦ 焦点距離目盛
Focal length scale
Brennweitenskala
Echelle de focale
Escala de distancias focales

⑧ 焦点距離目盛指標
Focal length scale index
Brennweitenskala Index
Repère de echelle de focale
Indicador de escala de distancias focales

⑨ レンズ着脱指標
Mounting index
Montage-Markierung
Repère de montage
Indice de montaje

⑩ CPU信号接点
CPU contacts
CPU-Kontakte
Contacts CPU
Contactos CPU

⑪ A-M切り換えスイッチ
A-M mode switch
Fokus-Modusschalter (A-M)
Commutateur de mode A-M
Interruptor de modo de enfoque A-M

⑫ 手ブレ補正スイッチ
Vibration reduction ON/OFF switch
Schalter für Bildstabilisator (VR)
Commutateur ON/OFF (MARCHE/ARRÊT) de réduction de vibration
Interruptor de ON/OFF de reducción de vibración

安全上のご注意

表示について

絵表示の例

⚠ 警告

分解したり、修理や改造をしないこと

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにカメラの電池を取り出すこと

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

⚠ 注意

ぬれた手でさわらないこと

製品は幼児の手の届かないところに置くこと

逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと

使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと

日本語

このたびはDXニッコールレンズをお買い上げいただきありがとうございます。このレンズは、ニコンDXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ（D2シリーズ、D300シリーズなど）専用です。ニコンDXフォーマットでの撮影画角は、35mm判換算で焦点距離の約1.5倍の焦点距離に相当する画角になります。ご使用の前に、この「使用説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

主な特長

- 手ブレ補正機能（VR）を使用すると、使わないときと比べ約3段分*シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がり、幅広い領域で手持ち撮影が可能です。（＊当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。）
- レンズ内超音波モーター（サイレント・ウエーブ・モーター）を採用し静かなAF（オートフォーカス）撮影が可能です。また、A-M切り換えスイッチ⑪によりAF（オートフォーカス）撮影およびMF（マニュアルフォーカス）撮影ができます。
- 被写体までの距離情報をカメラ側に伝達する機能を備え、より的確な露出制御を実現します。
- ニコン独自のED（特殊低分散）ガラスによる色収差の補正とともに、良好なボケ味を再現する円形絞りの採用により優れた光学性能、描写性能を発揮します。

カメラへの取り付け方（カメラの使用説明書もご覧ください）

1. カメラの電源スイッチをOFFにします。
2. レンズの裏ぶたを取り外します（図D）
3. レンズとカメラのレンズ着脱指標⑨を合わせ、反時計回りにカチッと音がするまでレンズを回します。このとき、レンズの着脱指標⑨が真上にきます。
4. レンズキャップを取り外します。（図C）

カメラからレンズの取り外し方（カメラの使用説明書もご覧ください）

レンズを取り外すには、カメラの電源スイッチをOFFにし、レンズ取り外しボタンを押しながら時計回りにレンズを回します。

バヨネットフードHB-37①の取り付け、取り外し（図B）

■取り付け方：レンズ先端のフード着脱指標④とフード取り付け指標（ 、2ヶ所のいずれか）②を合わせて、時計回りにカチッと音がするまでフード①を回転させ、確実に取り付けます。

- フード着脱指標④とフードセット指標（ —○ ）③が合っていることを確認してください。
- フード①が正しく取り付けられないと撮影画面にケラレを生じますのでご注意ください。
- フード①先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、フード①の根元（フード取り付け指標②部分）付近を持って回転させてください。
- 収納時はフード①を逆向きにしてレンズに取り付けることができます。

■取り外し方：フード①の根元（フード取り付け指標②部分）付近を持ち、反時計回りにフード①を回転させて取り外します。

ズーミングと被写界深度

撮影を行う場合は、ズームリング⑥を回転させ（焦点距離が変化します）、構図を決めてからピント合わせを行ってください。ズームリング⑥をカメラ側から見て時計回りに回すと写る範囲（画角）は狭く被写体は大きくなり、反時計回りに回すと写る範囲（画角）が広く被写体は小さくなります。

プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前に被写界深度を確認できます。詳しくは、カメラの使用説明書をご覧ください。

ニコン内焦方式は、通常のレンズと異なるため、至近距離になると焦点距離が若干短くなります。

ピント合わせの方法（図A）

■オートフォーカス撮影：カメラのフォーカスモードをAF-A、AF-SまたはAF-Cにセットし、レンズのA-M切り換えスイッチ⑪を［A］にセットしてください。シャッターボタンを半押してピントを合わせ撮影します。

> オートフォーカス撮影ではフォーカスリング⑤が回転しますので、フォーカスリング⑤に触れないように注意してください。

■マニュアルフォーカス撮影：レンズのA-M切り換えスイッチ⑪を[M]にセットします。フォーカスリング⑤を回転させてピントを合わせ撮影します。このときカメラ側のフォーカスモードはAFでもMでもマニュアルフォーカス撮影ができます。

レンズのA-M切り換えスイッチ⑪	カメラのフォーカスモード	
	AF-A / AF-S / AF-C	M
A	オートフォーカス撮影	
M	マニュアルフォーカス撮影（フォーカスエイド可）	

カメラのフォーカスモードについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

※ クローズアップレンズを装着した場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせて撮影してください。

手ブレ補正機能（VR）

シャッタースピードで約3段分*の手ブレを補正します。パンニングにも対応し、流し撮りも行えます。（＊当社測定条件によります。また、手ブレ補正効果は、撮影者や撮影条件によって異なります。）

■手ブレ補正機能の使い方

1. 手ブレ補正スイッチ⑫を［ON］にセットします。
   - スイッチ⑫は、指標が合うようにセットしてください。
2. シャッターボタンを半押しすると手ブレを補正します。このときファインダー内の画像のブレも補正するため、ピント合わせが容易で、フレーミングしやすくなります。
3. 手ブレ補正スイッチ⑫を［OFF］にセットすると、手ブレを補正しません。

■手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- パンニング（流し撮り）でカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、流し撮りで横方向にパンニングすると、縦方向の手ブレだけが補正され、流し撮りが行えます。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがありますが、異常ではありません。
- 手ブレ補正中にカメラの電源スイッチをOFFにしたり、レンズを取り外したりしないでください。（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度ONにすれば、音は消えます。）
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラ（D300シリーズ、D60など）で、内蔵フラッシュ充電中には、手ブレ補正は行いません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正スイッチ⑫を［OFF］にしてください。ただし、三脚を使っても雲台を固定しないときや、一脚を使用するときには、スイッチを［ON］にすることをおすすめします。
- AF作動ボタンのあるカメラ（D2シリーズ、D300シリーズなど）で、AF作動ボタンを押しても、手ブレ補正は作動しません。

絞り値の設定

絞り値を設定する場合は、カメラで設定してください。

開放F値の変化

このレンズはズーミングにより、開放F値が最大1段変化します。ただし、露出を決める際に、F値の変化量はカメラが自動的に補正しますので考慮する必要はありません。

カメラの内蔵フラッシュ使用時のケラレについて

カメラの内蔵フラッシュのケラレとは、フラッシュの光がレンズのフードや、焦点距離、撮影距離によってはレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に映り込む現象です。

- ケラレを防止するために、レンズフード①は取り外して使用してください。

デジタル一眼レフカメラ	ケラレなく撮影できる焦点距離と撮影距離
D300シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70シリーズ、D5000、D3000、D60、D50、D40シリーズ	すべての焦点距離でケラレは発生しません。

レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズのCPU信号接点⑩は汚さないようにご注意ください。
- レンズ面の清掃は、ホコリを拭う程度にしてください。指紋がついたときは、柔らかい清潔な木綿の布に無水アルコール（エタノール）または市販のレンズクリーナーを少量湿らせ、レンズの中心から外周へ渦巻状に、拭きムラ、拭き残りのないように注意して拭いてください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズ表面の汚れや傷を防ぐためには、NCフィルターをお使いいただけます。また、レンズフード①も役立ちます。
- レンズをソフトケースに入れるときは、必ずレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。なお、フード①を逆さ向きにしてレンズに取り付けた状態でも収納可能です。
- フード①を持ってカメラを持ち上げたりしないでください。
- レンズを長期間使用しないときは、カビやサビを防ぐために、高温多湿のところを避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、ナフタリンや樟脳のあるところも避けてください。
- レンズを水に濡らすと、部品がサビつくなどして故障の原因となりますのでご注意ください。
- ストーブの前など、高温になるところに置かないでください。極端に温度が高くなると、外観の一部に使用している強化プラスチックが変形することがあります。

付属アクセサリー

- 52mmスプリング式レンズキャップ LC-52 ● 裏ぶた LF-1 ● バヨネットフード HB-37
- ソフトケース CL-0918

別売アクセサリー

- 52mmネジ込み式フィルター

使用できないアクセサリー

- テレコンバーター：全種類 ● オート接写リング：PKリング全種類 ● Kリング：全種類
- オートリング：BR-4 ● ベローズアタッチメント：全種類 ● アタッチメントリング SX-1

※ その他のアクセサリーでも、使用できない場合があります。アクセサリーの使用説明書をご確認ください。

仕様

型式： ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DXニッコールズームレンズ（ニコンデジタル一眼レフカメラ［ニコンDXフォーマット］専用）
焦点距離： 55mm — 200mm
最大口径比： 1：4 — 5.6
レンズ構成： 11群15枚（EDレンズ1枚）
画角： 28° 50′ — 8°
焦点距離目盛： 55、70、85、105、135、200mm
撮影距離情報： カメラへの撮影距離情報出力可能
ズーミング： ズームリングによる回転式
ピント合わせ： IF（ニコン内焦）方式、超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアルフォーカス可能
手ブレ補正： ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離： 1.1m（ズーム全域）
絞り羽根枚数： 7枚（円形絞り）
絞り方式： 自動絞り
絞りの範囲： 焦点距離55mm時 f4—22、200mm時 f5.6—32
測光方式： 開放測光
アタッチメントサイズ： 52mm（P = 0.75mm）
大きさ： 約73（最大径）× 99.5mm（バヨネット基準面からレンズ先端まで）
質量： 約335g

- 仕様、外観の一部を、改善のため予告なく変更することがあります。

English

Thank you for purchasing the AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. DX Nikkor lenses are specially designed for use with Nikon digital SLR (Nikon DX format) cameras, such as the D2-Series and D300-Series. When mounted on Nikon DX format cameras, the lens' picture angle is equivalent to approx. 1.5x focal length in 35mm format. Before using this lens, please read these instructions and the Notes on Safety Operations.

Notes on Safety Operations

⚠ **CAUTION**

Do not disassemble
Touching the internal parts of the camera or lens could result in injury. Repairs should be performed only by qualified technicians. Should the camera or lens break open as the result of a fall or other accident, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection after unplugging the product and/or removing the battery.

Turn off immediately in the event of malfunction
Should you notice smoke or an unusual smell coming from the camera or lens, remove the battery immediately, taking care to avoid burns. Continued operation could result in injury. After removing or disconnecting the power source, take the product to a Nikon-authorized service representative for inspection.

Do not use the camera or lens in the presence of flammable gas
Operating electronic equipment in the presence of flammable gas could result in an explosion or fire.

Do not look at the sun through the lens or viewfinder
Viewing the sun or other strong light sources through the lens or viewfinder could cause permanent visual impairment.

Keep out of reach of children
Particular care should be taken to prevent infants from putting the batteries or other small parts into their mouths.

Observe the following precautions when handling the camera and lens
- Keep the camera and lens unit dry. Failure to do so could result in fire or electric shock.
- Do not handle or touch the camera or lens unit with wet hands. Failure to do so could result in electric shock.
- When shooting with back-lighting, do not point the lens at the sun or allow sunlight to pass directly down the lens as this may cause the camera to overheat and possibly cause a fire.
- When the lens will not be used for an extended period of time, attach both the front and rear lens caps and store the lens away from direct sunlight. Failure to do so could result in a fire, as the lens may focus sunlight onto a flammable object.

Major features

- Pictures can be taken at shutter speeds approx. 3 stops* slower than is possible without using a VR lens, thus expanding the range of usable shutter speed options and making shooting without a tripod at various zoom settings much easier. (*Under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction vary depending on individual and shooting conditions.)
- This lens employs a Silent Wave Motor to drive the focusing mechanism, making autofocusing smooth, silent and almost instantaneous. The A-M mode switch ⑪ is provided to easily select autofocus (A) or manual focus (M) operations.
- More accurate exposure control is possibe because subject distance information is transferred from the lens to the camera body.
- The use of one ED (extra-low dispersion) lens element ensures sharp pictures virtually free of color fringing. Also, by utilizing a 7-blade diaphragm that produces a nearly circular aperture, out-of-focus images in front of or behind the subject are rendered as pleasing blurs.

Mounting the lens (Refer to your camera user's manual.)

1. Turn the camera off.
2. Remove the rear lens cap (Fig. D).
3. Keeping the mounting index ⑨ on the lens aligned with the mounting mark on the camera body, rotate the lens counterclockwise until it clicks into place. Make sure that the mounting index ⑨ is at the uppermost side.
4. Remove the front lens cap. (Fig. C)

Detaching the lens (Refer to your camera user's manual.)

Be sure to turn the camera off when removing the lens. Press and hold the lens-release button while turning the lens clockwise to detach.

Using bayonet hood HB-37 ① (Fig. B)

■Attaching the hood

Align the lens hood attachment index ( ) ② on the hood (either one of the two indexes) with the lens hood mounting index ④ on the lens, and turn the hood ① clockwise until it click stops to secure.

- Make sure that the lens hood mounting index ④ aligns with the lens hood setting index (—○) ③.
- If the lens hood ① is not correctly attached, vignetting can occur.
- To facilitate attachment or removal of the hood ①, hold it by its base (around the lens hood attachment index ②) rather than its outer edge.
- To store the lens hood ①, attach it in the reverse position.

■Detaching the hood

While holding the base of the hood (near the lens hood attachment index ②) rather than its outer edge, turn it counterclockwise to detach.

Focusing, zooming, and depth of field

Before focusing, turn the zoom ring ⑥ to change the focal length until the desired composition is framed in the viewfinder. Turn the zoom ring ⑥ clockwise as viewed from the camera side to take telephoto pictures and counterclockwise to take wide-angle pictures. If your camera has a depth of field preview (stop-down) button or lever, depth of field can be observed while looking through the camera viewfinder. See the user's manual of your camera body for more details.
Due to the optical characteristics of this lens, as the lens is focused closer, the focal length slightly decreases.

Focusing (Fig. A)

■Autofocus mode: Set the camera's focus mode to AF-A, AF-S or AF-C and set the lens' A-M mode switch ⑪ to [A]. Autofocus is provided while lightly pressing the shutter release button.

> Be careful not to touch the focus ring ⑤ when it is turning during autofocus operation.

■Manual focus mode: Set the lens' A-M mode switch ⑪ to [M]. Turn the focus ring ⑤ manually to focus. Shooting is possible when camera's focus mode is set to either AF or M.

Lens' A-M mode switch ⑪	Camera's focus mode	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Autofocus	——
M	Manual focus (Focus assist is available)	

For more details on camera's focus mode, refer to your camera user's manual.

- Focus manually when close-up attachment lenses are attached.

Vibration reduction mode (VR)

Pictures can be taken at shutter speeds approx. 3 stops* slower than is possible without using a VR lens. Panning is also possible. (*Under Nikon measurement conditions. The effects of vibration reduction vary depending on individual and shooting conditions.)

■Setting the vibration reduction ON/OFF switch

1. Set the Vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [ON].
   Note: Be sure to set the switch ⑫ so that the indicator aligns with [ON] precisely.
2. Vibration is reduced when the shutter release button is lightly pressed. Because vibration is reduced in the viewfinder, auto/manual focusing and exact framing of the subject are made easier.
3. To cancel the vibration reduction mode, set the Vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [OFF].

■Notes on using vibration reduction

- Wait until the image in the viewfinder stops vibrating before fully depressing the shutter release button after you have lightly pressed the shutter release button.
- If you move the camera in a wide arc when panning, vibration in the direction of that movement is not affected. For example, if you pan the camera horizontally, only vibration in the vertical direction is reduced, making smooth pans much easier.
- Due to the characteristics of the vibration reduction mechanism, the image in the viewfinder may become blurred after releasing the shutter. This is not a malfunction.
- Do not turn the camera power OFF or remove the lens from the camera while the vibration reduction mode is in operation. (Otherwise, the lens may emit a chattering noise if the camera is shaken. This is not a malfunction. Turn the camera power ON again to correct this.)
- With cameras (such as D300-Series and D60 models) featuring a built-in flash, vibration reduction does not work while the built-in flash is recycling.
- When the lens is mounted on a tripod, set the vibration reduction ON/OFF switch ⑫ to [OFF]. However, set the switch to [ON] when using a tripod without securing the tripod head, or when using a monopod.
- With AF cameras featuring an AF start (AF-ON) button, such as D2-Series and D300-Series models, vibration reduction will not operate even if the AF-ON button is depressed.

Setting the aperture

Set the aperture on the camera body.

Variable maximum apertures

Zooming the lens from 55mm to 200mm decreases the maximum aperture by one f/stop. However, there is no need to adjust the aperture for correct exposures because the camera automatically compensates for this variation.

Taking flash pictures using cameras with a built-in flash

Vignetting is the darkening of the corners around the image that occurs when the light emitted from the flash is obstructed by the lens hood, or lens barrel depending on the focal length or shooting distance.

- To prevent vignetting, do not use the lens hood ①.

Digital SLR cameras	Usable focal length / Shooting distance
D300-Series, D200, D100, D90, D80, D70-Series, D5000, D3000, D60, D50, D40-Series	No vignetting occurs at any focal length

Lens care

- Be careful not to soil or damage the CPU contacts ⑩.
- Clean the lens surfaces with a blower brush. To remove dirt and smudges, use a soft, clean cotton cloth or lens tissue moistened with ethanol (alcohol) or lens cleaner. Wipe in a circular motion from center to outer edge, taking care not to leave traces or touch other parts of the lens.
- Never use thinner or benzene to clean the lens, as this might damage it, result in a fire or cause health problems.
- To protect the front lens element, an NC filter is available. A lens hood ① also helps protect the front of the lens.
- When storing the lens in its flexible lens pouch, attach both the front and rear lens caps. The lens can also be stored when the lens hood ① is attached in the reverse position.
- Do not hold the lens hood while the lens is attached to a camera.
- When the lens will not be used for a long time, store it in a cool, dry place to prevent mold. Also store the lens away from direct sunlight or chemicals such as camphor or naphthalene.
- Do not get water on the lens or drop it in water as this will cause it to rust and malfunction.
- Reinforced plastic is used for certain parts of the lens. To avoid damage, never leave the lens in an excessively hot place.

Standard accessories

- 52mm snap-on front lens cap LC-52 • Rear lens cap LF-1
- Bayonet hood HB-37 • Flexible lens pouch CL-0918

Optional accessories

- 52mm screw-in filters

Incompatible accessories

- Teleconverters (all models)
- Auto Ring BR-4 and all models of Auto Extension Ring PK, K Ring and Bellows focusing attachment.
- Attachment Ring SX-1

Other accessories might not be suitable for use with this lens. For details, check your accessories user's manual.

Specifications

Type of lens: G-type AF-S DX Zoom-Nikkor lens with built-in CPU and Nikon bayonet mount (Specially designed for use with Nikon digital SLR – Nikon DX format – cameras)
Focal length: 55mm–200mm
Maximum aperture: f/4–5.6
Lens construction: 15 elements in 11 groups (1 ED lens element)
Picture angle: 28°50'–8°
Focal length scale: 55, 70, 85, 105, 135, 200mm
Distance information: Output to camera body
Zoom control: Manually via separate zoom ring
Focusing: Nikon Internal Focusing (IF) system (utilizing an internal Silent Wave Motor); manually via separate focus ring
Vibration reduction: Lens-shift method using voice coil motors (VCMs)
Closest focus distance: 1.1m (3.6 ft.) at all zoom settings
No. of diaphragm blades: 7 pcs. (rounded)
Diaphragm: Fully automatic
Aperture range: f/4 to f/22 (at 55mm), f/5.6 to f/32 (at 200mm)
Exposure measurement: Via full-aperture method
Attachment size: 52mm (P = 0.75mm)
Dimensions: Approx. 73mm dia. x 99.5mm extension from the camera's lens-mount flange
Weight: Approx. 335g (11.8 oz)

Specifications and designs are subject to change without any notice or obligation on the part of the manufacturer.

Deutsch

Wir danken Ihnen für das Vertrauen, das Sie Nikon mit dem Kauf des AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED entgegenbringen. DX Nikkor-Objektive sind speziell für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras (Nikon DX-Format) ausgelegt, wie etwa der Modelle der D2-Serie sowie Modell der D300-Serie. Bei Anbringen an Kameras im Nikon DX-Format entspricht der Bildwinkel des Objektivs ca. dem 1,5-Fachen der Brennweite im 35-mm-Format. Machen Sie sich bitte vor dem Einsatz dieses Objektivs mit dem Inhalt dieser Bedienungsanleitung und den Hinweisen für sicheren Betrieb vertraut.

Hinweise für sicheren Betrieb

⚠ **ACHTUNG**

Keinesfalls zerlegen.
Beim Berühren der Innenteile von Kamera oder Objektiv droht Verletzungsgefahr. Überlassen Sie Reparaturen unbedingt ausschließlich qualifizierten Technikern. Kommt es durch einen heftigen Stoß (z.B. Fall auf den Boden) zu einem Bruch von Kamera oder Objektiv, so trennen Sie zunächst das Produkt vom Stromnetz bzw. entnehmen die Batterie(n) und geben es dann an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Bei einer Störung sofort die Stromversorgung ausschalten.
Bei Entwicklung von Rauch oder ungewöhnlichem Geruch durch Kamera oder Objektiv entnehmen Sie sofort die Batterie(n); dabei vorsichtig vorgehen, denn es besteht Verbrennungsgefahr. Bei einem Weiterbetrieb unter diesen Umständen droht Verletzungsgefahr.
Nach dem Abtrennen von der Stromversorgung geben Sie das Gerät an eine autorisierte Nikon-Servicestelle zur Überprüfung ab.

Kamera oder Objektiv keinesfalls bei Vorhandensein von brennbarem Gas einsetzen.
Wird elektronisches Gerät bei brennbarem Gas betrieben, so droht u.U. Explosions- oder Brandgefahr.

Keinesfalls durch Objektiv oder Sucher in die Sonne blicken.
Beim Betrachten der Sonne oder anderer starker Lichtquellen durch Objektiv oder Sucher droht eine permanente Schädigung des Sehvermögens.

Dem Zugriff von Kindern entziehen.
Es ist unbedingt dafür zu sorgen, dass Kleinkinder keine Batterien oder andere Kleinteile in den Mund nehmen können.

Beim Umgang mit Kamera und Objektiv unbedingt die folgenden Vorsichtmaßnahmen beachten:
- Schützen Sie die Kamera und das Objektiv vor Feuchtigkeit. Andernfalls droht Brand- oder Stromschlaggefahr.
- Handhaben oder berühren Sie die Kamera bzw. das Objektiv keinesfalls mit nassen Händen. Andernfalls droht Stromschlaggefahr.
- Bei Gegenlichtaufnahmen nicht das Objektiv gegen die Sonne richten oder das Sonnenlicht direkt durch das Objektiv eintreten lassen. Dies könnte eine Überhitzung der Kamera verursachen und ein Brand könnte die Folge sein.
- Vor einem längeren Nichtgebrauch des Objektivs bringen Sie den vorderen und hinteren Deckel an und bewahren das Objektiv geschützt vor direkter Sonnenlichteinwirkung auf. Andernfalls droht Brandgefahr wegen möglicher Fokussierung von Sonnenlicht durch das Objektiv auf brennbare Gegenstände.

Hauptmerkmale

- Aufnahmen bei Verschlusszeiten ermöglicht der Bildstabilisator (VR) verwacklungsfreie Aufnahmen mit um bis zu drei Lichtwertstufen* längeren Verschlusszeiten als beim Fotografieren ohne VR-Technik, auf diese Weise werden der Bereich der verfügbaren Verschlusszeitoptionen erweitert und Teleaufnahmen ohne Stativ erheblich vereinfacht. (*unter Nikon-Testbedingungen; der Ausmaß des Effekts des Bildstabilisators ist abhängig vom Fotografen und den Aufnahmebedingungen.)
- Der Silent Wave Motor im Objektiv steuert den Fokussiermechanismus und sorgt so für stufenlosen, leisen und praktisch verzögerungsfreien Autofokus-Betrieb. Der Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ dient zur einfachen Wahl von Autofokus (A) oder manueller Scharfeinstellung (M).
- Eine präzisere Belichtungssteuerung ist möglich, denn die Objektdistanzdaten werden vom Objektiv zum Kameragehäuse übertragen.
- Ein ED-Linsenelement (Extra-low Dispersion) garantiert scharfe Bilder, die praktisch frei von Farbsaumbildung sind. Außerdem machen sich dank einer Irisblende mit 7 Lamellen und fast kreisrunder Öffnung Unschärfen vor oder hinter dem Aufnahmemotiv nicht störend bemerkbar.

Anbringen des Objektivs (Siehe hierzu das Benutzerhandbuch der Kamera.)

1. Schalten Sie die Stromversorgung der Kamera aus.
2. Nehmen Sie den hinteren Objektivdeckel ab (Abb. D).
3. Fluchten Sie die Montage-Markierungen ⑨ an Objektiv und Kameragehäuse und drehen Sie das Objektiv entgegen dem Uhrzeigersinn, bis es hörbar einrastet. Sorgen Sie unbedingt dafür, dass sich die Montage-Markierung ⑨ ganz oben befindet.
4. Nehmen Sie den vorderen Objektivdeckel ab. (Abb. C)

Abnehmen des Objektivs (Siehe hierzu das Benutzerhandbuch der Kamera.)

Beim Abnehmen des Objektivs muss die Kamera unbedingt ausgeschaltet sein. Halten Sie die Objektiv-Freigabetaste gedrückt und drehen Sie das Objektiv im Uhrzeigersinn.

Verwendung der Gegenlichtblende HB-37 ① mit Bajonettfassung (Abb. B)

■Anbringen der Gegenlichtblende

Richten Sie die Montagemarkierungen an Objektiv ④ und Gegenlichtblende ( ) ② aneinander aus und drehen Sie die Gegenlichtblende ① im Uhrzeigersinn, bis sie hörbar einrastet.

- Stellen Sie sicher, dass die Kontrollmarkierung (—○) ③ mit der Montagemarkierung am Objektiv ④ fluchtet.
- Wenn die Gegenlichtblende ① falsch angebracht ist, kann es zu Vignettierung (Abschattungen an den Bildrändern) kommen.
- Halten Sie die Gegenlichtblende ① zum Anbringen oder Abnehmen an ihrer Basis (nahe der Montagemarkierung ②) fest, nicht am vorderen Rand.
- Die Gegenlichtblende ① kann zum Verstauen in umgekehrter Position an das Objektiv angesetzt werden.

■Abnehmen der Gegenlichtblende

Halten Sie die Gegenlichtblende ① an der Basis (nahe der Montagemarkierung ②) und drehen Sie sie gegen den Uhrzeigersinn.

Scharfeinstellung, Zoomen und Schärfentiefe

Vor der Scharfeinstellung verstellen Sie mit dem Zoomring ⑥ die Brennweite so weit, bis die gewünschte Bildkomposition im Sucher dargestellt ist. Drehen Sie den Zoomring ⑥ im Uhrzeigersinn (gesehen von der Kameraseite aus), um Teleaufnahmen zu machen, und entgegen dem Uhrzeigersinn für Weitwinkelaufnahmen. Hat Ihre Kamera eine Taste oder einen Hebel für Schärfentiefe-Voransicht (Abblenden), so lässt sich die Schärfentiefe beim Blicken durch den Kamerasucher beurteilen. Näheres hierzu finden Sie im Benutzerhandbuch der Kamera.
Aufgrund der optischen Eigenschaften dieses Objektivs ergibt sich bei Nahfokussierung eine leichte Verringerung der Brennweite.

Scharfeinstellung (Abb. A)

■Autofokus-Modus: Stellen Sie die Kamera auf AF-A, AF-S oder AF-C ein und den Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ am Objektiv auf [A]. Durch Antippen des Auslösers wird der Autofokus aktiviert.

> Beim Drehen während des Autofokus-Betriebs darf der Einstellring ⑤ nicht berührt werden.

■Manuelle Scharfeinstellung: Stellen Sie den Fokus-Modusschalter A-M ⑪ auf [M]. Drehen Sie den Einstellring ⑤ mit der Hand zum Fokussieren. Aufnahmen sind möglich, wenn der Autofokus-Modus der Kamera auf AF oder M eingestellt ist.

Fokus-Modusschalter (A-M) ⑪ am Objektiv	Kamera-Fokusmodus	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Autofokus	——
M	Manuelle Scharfeinstellung (Fokussierhilfe verfügbar.)	

Einzelheiten über den Kamera-Fokusmodus finden Sie im Benutzerhandbuch der Kamera.

- Manuelle Scharfeinstellung, wenn diese vorsatzlinsen angebracht sind.

Bildstabilisator (VR)

Aufnahmen mit bis ca. 3 Lichtwertstufen* längeren Verschlusszeiten sind ohne Verwendung eines VR-Objektivs möglich. Schwenkaufnahmen sind ebenfalls möglich. (*unter Nikon-Testbedingungen; der Ausmaß des Effekts des Bildstabilisators ist abhängig vom Fotografen und den Aufnahmebedingungen.)

■Der Schalter für den Bildstabilisator (VR)

1. Stellen Sie den Schalter für den Bildstabilisator ⑫ auf [ON].
   Hinweis: Dabei muss der Schalter ⑫ so eingestellt sein, dass die Markierung genau mit der Aufschrift [ON] fluchtet.
2. Wenn der Auslöser bis zum ersten Druckpunkt gedrückt wird, werden Verwacklungsbewegungen ausgeglichen. Da dies auch für das Sucherbild gilt, wird die automatische oder manuelle Fokussierung und die Ausrichtung auf das Motiv erleichtert.
3. Stellen Sie den Schalter ⑫ auf [OFF], um den Bildstabilisator zu deaktivieren.

■Hinweise zur Verwendung des Bildstabilisators

- Warten Sie, bis sich das Bild im Sucher stabilisiert hat, bevor Sie den Auslöser nach kurzem Antippen ganz herunterdrücken.
- Wenn Sie die Kamera in einem weiten Bogen bewegen (z. B. bei einem Kameraschwenk), sind Vibrationen in die Richtung dieser Bewegung nicht betroffen. Wenn Sie die Kamera z. B. horizontal schwenken, werden nur vertikale Vibrationen reduziert, so dass gleichmäßige Kameraschwenks möglich werden.
- Aufgrund der Eigenschaften des Bildstabilisators kann das Sucherbild nach dem Auslösen des Verschlusses leicht unscharf erscheinen. Dies ist kein Anzeichen für eine Gerätestörung.
- Schalten Sie die Kamera nicht aus und nehmen Sie das Objektiv nicht ab, solange der VR-Modus eingeschaltet ist. (Andernfalls erzeugt das Objektiv u. U. ein klapperndes Geräusch, wenn es bewegt wird. Dies ist keine Fehlfunktion. Schalten Sie die Kamera wieder ein und die VR-Funktion aus.)
- Bei Kameras wie etwa die Modelle der D300-Serie und D60 steht die VR-Funktion nicht zur Verfügung, während das integrierte Blitzgerät aufgeladen wird.
- Stellen Sie den Schalter ⑫ für den Bildstabilisator auf [OFF], wenn Sie ein Stativ benutzen. Wenn Sie dagegen ein Stativ ohne verriegelten Stativkopf oder ein Einbeinstativ verwenden, stellen Sie den Schalter auf [ON].
- Bei AF-Kameras mit einer AF-Starttaste (AF-ON) wie etwa die Modelle der D2-Serie und der D300-Serie wird die VR-Funktion durch das Drücken dieser Taste nicht aktiviert.

Blendeneinstellung

Stellen Sie die Blende an der Kamera ein.

Variable maximale Blenden

Durch Zoomen des Objektivs von 55 auf 200 mm wird die maximale Blende um eine Stufe abgeblendet. Dies spielt für eine korrekte Belichtung jedoch keine Rolle, weil die Kamera automatisch jede Verstellung kompensiert.

Blitzaufnahmen mit Kameras mit eingebautem Blitz

Unter Vignettierung versteht man die Abdunkelung der Bildecken, wenn das Blitzlicht von der Gegenlichtblende oder, je nach Brennweite oder Aufnahmedistanz, vom Objektivtubus verdeckt wird.

- Soll Vignettierung vermieden werden, so verwenden Sie einfach keine Gegenlichtblende ①.

Digital-SLR-Kameras	Mögliche Brennweite/Aufnahmedistanz
D300-Serie, D200, D100, D90, D80, D70-Serie, D5000, D3000, D60, D50, D40-Serie	Keine Vignettierung bei beliebiger Brennweite

Pflege des Objektivs

- Halten Sie die CPU-Kontakte ⑩ peinlich sauber, und schützen Sie sie vor Beschädigung!
- Säubern Sie Glasflächen mit einem Blasepinsel. Staub und Flecken entfernen Sie mit einem sauberen, weichen Baumwolltuch oder Optik-Reinigungspapier, das Sie mit éthanol (Alkohol) oder Optik-Reinigungsflüssigkeit anfeuchten. Wischen Sie in kreisförmigen Bewegungen von der Mitte nach außen, ohne daß Wischspuren zurückbleiben.
- Verwenden Sie keinesfalls Verdünnung oder Benzin zur Reinigung, da dieses zu Beschädigungen führen, Gesundheitsschäden verursachen oder ein Feuer auslösen könnte.
- Zum Schutz der Vorderlinse ist ein Filter NC erhältlich. Die Gegenlichtblende ① wirkt als zusätzlicher Frontlinsenschutz.
- Beim Verstauen des Objektivs in seinem flexiblen Etui müssen vorderer und hinterer Deckel aufgesetzt sein. Das Objektiv lässt sich auch dann verstauen, wenn die die Gegenlichtblende ① in der umgekehrten Position angebracht ist.
- Halten Sie die Kamera nicht an der Gegenlichtblende ①, wenn das Objektiv an der Kamera angebracht ist.
- Bei längerer Nichtbenutzung sollte das Objektiv an einem kühlen, trockenen Ort aufbewahrt werden. Halten Sie das Objektiv von direkter Sonneneinstrahlung oder Chemikalien wie Kampfer oder Naphthalin fern.
- Halten Sie das Objektiv von Wasser fern, das zur Korrosion und zu Betriebsstörungen führen kann.
- Einige Teile des Objektivs bestehen aus verstärktem Kunststoff. Lassen Sie das Objektiv deshalb nie an übermäßig heißen Orten zurück!

Serienmäßiges Zubehör

- Aufsteckbarer 52-mm-Frontobjektivdeckel LC-52 • Objektivrückdeckel LF-1
- Bajonett-Gegenlichtblende HB-37 • Objektivbeutel CL-0918

Sonderzubehör

- 52-mm-Einschraubfilter

Nicht geeignetes Zubehör

- Telekonverter (alle Modelle)
- Auto-Ring BR-4 und alle Modelle von Auto-Zwischenring PK, Ring K und Balgenvorsatz.
- Anschlussring SX-1

Anderes Zubehör ist möglichcherweise für bestimmte Kameras nicht geeignet. Lesen Sie sorgfältig das Benutzerhandbuch zu Ihrem Zubehör.

Technische Daten

Objektivtyp: AF-S DX Zoom-Nikkor-Objektiv Typ G mit integrierter CPU und Nikon-Bajonettfassung (speziell ausgelegt für den Gebrauch mit Nikon Digital-SLR-Kameras – Nikon DX-Format)
Brennweite: 55–200 mm
Maximale Blendenöffnung: f/4-5,6
Objektivaufbau: 15 Elemente in 11 Linsengruppen (1 ED-Element)
Bildwinkel: 28°50´ – 8°
Brennweitenskala: 55, 70, 85, 105, 135, 200mm
Entfernungsdaten: Werden an Kameras übertragen
Zoomen: Manuell über separaten Zoomring
Fokussierung: Innenfokussierung nach dem Nikon-IF-System (mittels integriertem Silent-Wave-Motor); manuell über separaten Fokussierring
Bildstabilisator (VR): Linsen-Versatzverfahren mittels Schwingspulenmotoren (VCM)
Kürzeste Aufnahmedistanz: 1,1 m bei allen Zoomeinstellungen
Blende: Irisblende mit 7 gerundeten Lamellen
Blendenart: Vollautomatisch
Blendenbereich: f/4 bis f/22 (bei 55 mm), f/5,6 bis f/32 (bei 200 mm)
Belichtungsmessung: Offenblendenmessung
Befestigungsgröße: 52 mm (P = 0,75mm)
Abmessungen: Ca. 73 mm Durchm. x 99,5 mm zum Objetivmontageflansch der Kamera
Gewicht: Ca. 335 g

Änderungen von technischen Daten und Design durch den Hersteller vorbehalten.

Français

Merci d'avoir porté votre choix sur l'objectif AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5,6G IF-ED. Les objectifs Nikkor DX sont conçus spécialement pour une utilisation avec les reflex numériques (format DX Nikon), telles les série D2 et série D300.
Lorsqu'il est monté sur des appareils au format DX Nikon, l'angle d'image de l'objectif est environ équivalent à 1,5x la focale au format 35mm. Avant d'utiliser cet objectif, veuillez lire ces instructions et les remarques sur les utilisations en toute sécurité.

Remarques concernant une utilisation en toute sécurité

⚠ **ATTENTION**

Ne pas démonter
Le fait de toucher aux pièces internes de l'appareil ou de l'objectif pourrait entraîner des blessures. Les réparations doivent être effectuées par des techniciens qualifiés. Si l'appareil ou l'objectif est cassé suite à une chute ou un autre accident, apportez le produit dans un centre de service agréé Nikon pour le faire vérifier après avoir débranché le produit et retiré les piles.

En cas de dysfonctionnement, éteignez l'appareil immédiatement
Si vous remarquez de la fumée ou une odeur inhabituelle se dégageant de l'appareil photo ou de l'objectif, retirez immédiatement les piles, en prenant soin de ne pas vous brûler. Continuer d'utiliser son matériel peut entraîner des blessures. Après avoir retiré ou débranché la source d'alimentation, confiez le produit à un centre de service agréé Nikon pour le faire vérifier.

N'utilisez pas l'appareil photo ou l'objectif en présence de gaz inflammable
L'utilisation de matériel électronique en présence de gaz inflammable risquerait de provoquer une explosion ou un incendie.

Ne regardez pas le soleil dans l'objectif ou le viseur
Regarder le soleil ou toute autre source lumineuse violente dans l'objectif ou le viseur peut provoquer de graves lésions oculaires irréversibles.

Tenir hors de portée des enfants
Faites extrêmement attention à ce que les enfants ne mettent pas à la bouche les piles ou d'autres petites pièces.

Observez les précautions suivantes lorsque vous manipulez l'appareil et l'objectif
- Maintenez l'appareil photo et l'objectif au sec. Le nonrespect de cette précaution peut provoquer un incendie ou une électrocution.
- Ne manipulez pas et ne touchez pas l'appareil photo ou l'objectif avec les mains humides. Le non-respect de cette précaution peut provoquer une électrocution.
- Lors d'une prise de vue à contre-jour, ne dirigez pas l'objectif vers le soleil et évitez que les rayons du soleil pénètrent dans l'objectif ; l'appareil photo pourrait chauffer à l'excès, ce qui risquerait de provoquer un incendie.
- Lorsque vous n'utilisez pas l'objectif pendant une période prolongée, fixez les bouchons avant et arrière, et rangez l'objectif à l'abri de la lumière directe du soleil. Le non-respect de cette précaution peut provoquer un incendie, car l'objectif peut concentrer la lumière du soleil sur un objet inflammable.

Principales caractéristiques

- Vous pouvez prendre des photos à des vitesses d'obturation d'environ 3 valeurs* inférieures à celles normalement utilisées, ce qui permet d'augmenter la gamme des options de vitesses d'obturation et de prendre des photos avec téléobjectif beaucoup plus facilement sans trépied. (*Dans les conditions de mesures de Nikon. Les effets de la réduction de vibration varient en fonction des personnes et des conditions de prise de vue.)
- Cet objectif utilise un moteur à ondes silencieux pour entraîner le mécanisme de mise au point, permettant un autofocus régulier, silencieux et presque instantané. Le commutateur de mode A-M ⑪ sert à sélectionner facilement les modes autofocus (A) et mise au point manuelle (M).
- Un contrôle d'exposition plus précis est possible, parce que l'information de distance au sujet est transférée de l'objectif au boîtier.
- L'utilisation d'un élément ED (dispersion extra basse) assure des images nettes virtuellement exemptes de frangeage couleur. Et l'emploi d'un diaphragme à 7 lames produisant une ouverture quasi circulaire estompe agréablement les images floues à l'avant ou à l'arrière du sujet.

Montage de l'objectif (Reportez-vous au manuel d'utilisation.)

1. Eteignez l'appareil photo.
2. Otez le capuchon d'objectif arrière (Fig. D).
3. En maintenant le repère de montage ⑨ de l'objectif aligné avec le repère de montage du boîtier, tournez l'objectif dans le sens inverse des aiguilles d'une montre jusqu'à ce qu'il se mette en place avec un déclic. Assurez-vous que le repère de montage ⑨ est dirigé vers le haut.
4. Otez le capuchon d'objectif avant. (Fig. C)

Démontage de l'objectif (Reportez-vous au manuel d'utilisation.)

Assurez-vous d'éteindre l'appareil photo lorsque vous ôtez l'objectif. Appuyez sur le bouton de libération de l'objectif et maintenez-le enfoncé tout en tournant l'objectif dans le sens des aiguilles d'une montre.

Utilisation d'un parasoleil baïonnette HB-37 ① (Fig. B)

■Fixation du parasoleil

Alignez le repère de fixation ( ) ② situé sur le parasoleil (l'un des deux repères) avec le repère de montage ④ situé sur l'objectif, puis tournez le parasoleil ① dans le sens horaire jusqu'au déclic d'arrêt pour le bloquer.

- Vérifiez que le repère de montage ④ est bien aligné avec le repère de réglage du parasoleil (—○) ③.
- Si le parasoleil n'est pas correctement fixé, on assiste à un effet de vignetage.
- Il vous sera plus facile de fixer ou de retirer le parasoleil ① si vous le tenez par la base (aux environs du repère de fixation ②) et non par le bord extérieur.
- Avant de ranger l'objectif, fixez le parasoleil à l'envers.

■Démontage du parasoleil

Tout en maintenant la base du parasoleil ① (aux environs du repère de fixation ②) plutôt que le bord extérieur, tournez-le dans le sens anti-horaire pour le démonter.

Mise au point, cadrage au zoom et profondeur de champ

Avant de mettre au point, tournez la bague de zoom ⑥ pour changer la focale jusqu'à ce que la composition souhaitée soit cadrée dans le viseur. Tournez la bague de zoom ⑥ dans le sens des aiguilles d'une montre, vu du côté de l'appareil, pour prendre des photos au téléobjectif et dans le sens inverse des aiguilles d'une montre pour prendre des photos grand-angle. Si votre appareil dispose d'un bouton ou d'un levier de prévisualisation du champ (ouverture réelle), vous pouvez observer la profondeur du champ en regardant à travers le viseur de l'appareil. Voyez le manuel d'utilisation de votre boîtier pour plus de détails.
La focale décroît légèrement à mesure que la mise au point de l'objectif se fait plus près, à cause des caractéristiques optiques de cet objectif.

Mise au point (Fig. A)

■Mode autofocus: Réglez le mode de mise au point de l'appareil sur AF-A, AF-S ou AF-C et le commutateur de mode A-M de l'objectif ⑪ sur [A]. L'autofocus se déclenche en pressant légèrement le déclencheur.

> Veillez à ne pas toucher la bague de mise au point ⑤ lorsqu'elle tourne pendant le fonctionnement de l'autofocus.

■Mode de mise au point manuelle: Réglez le commutateur de mode A-M de l'objectif ⑪ sur [M]. Tournez manuellement la bague de mise au point ⑤ pour mettre au point. La prise de vue est possible lorsque le mode de mise au point de l'appareil est réglé soit sur AF soit sur M.

Commutateur de mode A-M ⑪ de l'objectif	Mode de mise au point de l'appareil	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Autofocus	——
M	Mise au point manuelle (assistance à la mise au point disponible.)	

Pour plus de détails concernant le mode de mise au point de l'appareil, reportez-vous au manuel d'utilisation de votre appareil.

- Mettez au point manuellement lorsque ces objectifs de fixation gros-plan sont montés.

Mode réduction de la vibration (VR)

Vous pouvez prendre des photos à une vitesse d'obturation d'environ 3 valeurs* plus lentes que si vous n'utilisez pas un objectif VR. Le panoramique est aussi possible. (*Dans les conditions de mesures de Nikon. Les effets de la réduction de vibration varient en fonction des personnes et des conditions de prise de vue.)

■Réglage du commutateur ON/OFF de la réduction de vibration

1. Réglez le commutateur ON/OFF de réduction de vibration ⑫ sur [ON].
   Remarque: Assurez-vous de régler le commutateur ⑫ de sorte que l'indicateur s'aligne précisément sur [ON].
2. La vibration est réduite lorsque vous appuyez légèrement sur le déclencheur. Comme la vibration est réduite dans le viseur, la mise au point auto/manuelle et le cadrage précis du sujet sont facilités.
3. Pour annuler le mode de réduction de vibration, réglez le commutateur ON/OFF de réduction de vibration ⑫ sur [OFF].

■Remarques concernant la mode réduction de vibration

- Attendez que l'image se stabilise dans le viseur avant d'appuyer à fond sur le déclencheur après l'avoir légèrement enfoncé.
- Si vous déplacez l'appareil en décrivant une courbe pendant le panoramique filé, la vibration dans la direction du mouvement ne sera pas affectée. Si vous déplacez latéralement et horizontalement l'appareil, seule la vibration verticale est réduite, ce qui facilite les panoramiques filés.
- En raison des caractéristiques du mécanisme de réduction de vibration, l'image dans le viseur peut devenir légèrement floue une fois que le déclencheur est relâché. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement.
- Ne mettez pas l'appareil hors tension et n'ôtez pas l'objectif de l'appareil quand le mode de réduction de vibration est activé. (Sinon, l'objectif risque d'émettre un claquement si l'appareil est secoué. Il ne s'agit pas d'une anomalie. Remettez l'appareil sous tension pour éliminer ce cliquetis.)
- Avec les appareils tels les modèles de la série D300 et D60, la réduction de vibration ne fonctionne pas lorsque le flash intégré se recharge.
- Lorsque l'objectif est monté sur un pied, placez le commutateur ON/OFF (MARCHE/ARRÊT) de réduction de vibration ⑫ sur [OFF]. Néanmoins, lorsque vous utilisez un pied sans fixer la tête ou lorsque vous utilisez un monopode, placez le commutateur sur [ON] (MARCHE).
- Avec des appareils photo AF possédant une commande d'activation de l'AF (AF-ON), tels les modèles de la série D2 et la série D300, la réduction de vibration ne fonctionnera pas même si vous appuyez sur la commande AF-ON.

Réglage de l'ouverture

Réglez l'ouverture sur le boîtier.

Ouvertures maximales variables

Le fait de zoomer avec l'objectif de 55mm à 200 mm diminue l'ouverture maximale d'une valeur. Cependant, il n'est pas nécessaire d'ajuster l'ouverture pour une exposition correcte car l'appareil compense automatiquement cette variation.

Photographie au flash avec des appareils ayant un flash intégré

Le vignettage est l'assombrissement des coins de l'image qui se produit lorsque la lumière émise par le flash est retenue par le parasoleil, ou la monture de l'objectif en fonction de la focale ou de la distance de prise de vue.

- Pour éviter le vignettage, n'utilisez pas le parasoleil ①.

Reflexes numériques	Focale/distance de prise de vue applicable
Série D300, D200, D100, D90, D80, Série D70, D5000, D3000, D60, D50, Série D40	Aucun vignettage ne se produit quelle que soit la focale

Soin de l'objectif

- Veiller à ne pas salir ni endommager les contacts CPU ⑩.
- Nettoyer la surface de l'objectif avec un pinceau soufflant. Pour enlever les poussières ou les traces, utiliser de préférence un tissu de coton doux, ou un tissu optique, légèrement humidifié avec de l'alcool éthylique (éthanol). Essuyer en mouvement circulaire partant du centre.
- Ne jamais employer de solvant ou de benzènes qui pourrait endommager l'objectif, prendre feu ou nuire à la santé.
- Pour protéger la lentille de l'objectif un filtre NC est disponible. Un paresoleil ① assure également une bonne protection contre les chocs.
- Lorsque vous rangez l'objectif dans son sac souple, fixez les deux capuchons avant et arrière de l'objectif. L'objectif peut aussi être rangé lorsque le paresoleil ① est fixé en position inversée.
- Ne tenez pas le paresoleil ① lorsque l'objectif est fixé sur l'appareil.
- En cas d'inutilisation pour une longue période, entreposer le matériel dans un endroit frais, sec et aéré pour éviter les moisissures. Tenir le matériel éloigné des sources de lumière, et des produits chimiques (camphre, naphtaline, etc.).
- Eviter les projections d'eau ainsi que l'immersion, qui peut provoquer la rouille et des dommages irréparables.
- Divers matériaux de synthèse sont utilisés dans la fabrication. Pour éviter tout problème, ne pas soumettre l'objectif à de fortes chaleurs.

Accessoires fournis

- Bouchon avant d'objectif diamètre 52 mm LC-52 • Bouchon arrière LF-1
- Parasoleil baïonnette HB-37 • Sac souple pour objectif CL-0918

Accessoires en option

- Filtres à visser 52mm

Accessoires incompatibles

- Téléconvertisseur (tous les modèles) • La bague auto BR-4 et tous les modèles de bague d'auto-rallonge PK, les bagues K et les accessoires de mise au point soufflet.
- Bague de fixation SX-1

L'emploi d'autres accessoires peut ne pas être adapté avec cet objectif. Lisez attentivement le manuel d'utilisation de l'accessoire pour les détails.

Caractéristiques

Type d'objectif: Zoom-Nikkor DX AF-S de type G avec processeur et monture baïonnette Nikon (Spécialement conçus pour être utilisés sur des reflex numériques Nikon – format DX Nikon)
Focale: 55–200 mm
Ouverture maximale: f/4-5,6
Construction optique: 15 éléments en 11 groupes (1 lentille ED)
Champ angulaire: 28˚50´ – 8˚
Focales: 55, 70, 85, 105, 135, 200 mm
Informations sur la distance: A l'appareil
Zooming: Manuel avec bague de zoom séparée
Mise au point : Système de mise au point interne (IF) Nikon (utilisant un moteur silencieux SMW), manuelle par bague de mise au point séparée
Réduction de vibration : Par déplacement d'un bloc optique en utilisant des moteurs voice coil (VCM)
Distance de mise au point minimale: 1,1 m à tous les réglages zoom
Nb. de lamelles du diaphragme : 7 (circulaires)
Diaphragme: Entièrement automatique
Plage des ouvertures: f/4 à f/22 (à 55 mm), f/5,6 à f/32 (à 200 mm)
Mesure de l'exposition: Par la méthode à pleine ouverture
Taille des accessoires: 52 mm (P = 0,75 mm)
Dimensions: Env. dia. 73 mm x rallonge 99,5 mm de la bride de montage d'objectif de l'appareil
Poids: Env. 335 g

Les caractéristiques et le dessin sont susceptibles d'être modifiés sans préavis ni obligation de la part du constructeur.

Español

Muchas gracias por su compra del AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. Los objetivos DX Nikkor están diseñados especialmente para ser utilizados con las cámaras SLR digitales Nikon (formato Nikon DX), como las de la serie D2 y la serie D300.
Cuando se instala en cámaras con formato Nikon DX, el ángulo de imagen del objetivo es equivalente a aproximadamente 1.5x de la distancia focal en formato de 35mm. Antes de utilizar este objetivo, lea estas instrucciones y las notas sobre un uso seguro.

Notas sobre un uso seguro

⚠ **PRECAUCIÓN**

No desarme el equipo
El contacto con las piezas internas de la cámara o del objetivo puede provocar lesiones. Las reparaciones solamente deben ser ejecutadas por técnicos cualificados. Si a causa de un golpe u otro tipo de accidente la cámara o el objetivo se rompen y quedan abiertos, desenchufe el producto y/o retire la batería, y a continuación lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

Apague inmediatamente el equipo en caso de funcionamiento defectuoso
Si observa que sale humo o que la cámara o el objetivo desprenden un olor extraño, retire la batería inmediatamente, con cuidado de no quemarse. Si sigue utilizando el equipo corre el riesgo de sufrir lesiones.
Una vez extraída o desconectada la fuente de alimentación, lleve el producto a un centro de servicio técnico autorizado Nikon para su revisión.

No utilice la cámara ni el objetivo en presencia de gas inflamable
La utilización de equipos electrónicos en presencia de gas inflamable podría producir una explosión o un incendio.

No mire hacia el sol a través del objetivo ni del visor
Mirar hacia el sol u otra fuente de luz potente a través del objetivo o del visor podría producirle daños permanentes en la vista.

Mantener fuera del alcance de los niños
Se debe tener especial cuidado en evitar que los niños se metan en la boca pilas u otras piezas pequeñas.

Adopte las siguientes precauciones al manipular la cámara y el objetivo
- Mantenga la cámara y el objetivo secos. De no hacer esto podría producirse un incendio o una descarga eléctrica.
- No manipule ni toque la cámara ni el objetivo con las manos húmedas. De lo contrario podría recibir una descarga eléctrica.
- En disparos a contraluz, no apunte el objetivo hacia el sol ni deje que la luz solar pase directamente por él, ya que podría sobrecalentar la cámara y, posiblemente, causar un incendio.
- Cuando el objetivo no vaya a utilizar por un período de tiempo prolongado, colóquele la tapa frontal y guárdelo alejado de la luz solar directa. De no hacer esto podría producirse un incendio, ya que el objetivo podría enfocar la luz solar directa sobre un objeto inflamable.

Principales funciones

- Se puede realizar fotografías con velocidades de obturación de aproximadamente 3 pasos* más lento de lo que podría hacerlo sin usar un objetivo VR ampliando el intervalo de opciones de velocidad de obturación que pueden utilizarse y permitiendo que sea más fácil fotografiar con teleobjetivo sin trípode. (*Bajo condiciones de medición de Nikon. Los efectos de la reducción de la vibración varían dependiendo de las condiciones individuales y de fotografiado.)
- Este objetivo utiliza un motor Silent Wave para accionar el mecanismo de enfoque, en consecuencia, el enfoque automático es suave, silencioso y prácticamente instantáneo. Se incluye el interruptor de modo A-M ⑪ para seleccionar fácilmente las operaciones de enfoque automático (A) o enfoque manual (M).
- Es posible un control de exposición más preciso porque la información de distancia del sujeto se transfiere del objetivo a la cámara.
- El uso de un lente ED (dispersión extra-baja) garantiza imágenes nítidas, prácticamente sin mezcla de colores. Además, con el uso de un diafragma de 7 hojas que produce una abertura casi circular, las imágenes fuera de enfoque delante o detrás del sujeto aparecen con un agradable efecto de esfumado.

Instalación del objetivo (Consulte el manual del usuario de su cámara).

1. Apague la cámara.
2. Retire la tapa trasera del objetivo (Fig. D).
3. Manteniendo el índice de montaje ⑨ del objetivo alineado con la marca de montaje en la cámara, gire el objetivo en sentido contrario al de las agujas del reloj hasta que quede fijo con un chasquido. Asegúrese de que el índice de montaje ⑨ está en la parte más alta.
4. Retire la tapa frontal del objetivo. (Fig. C)

Desmontaje del objetivo (Consulte el manual del usuario de su cámara).

Asegúrese de apagar la cámara antes de desmontar el objetivo. Presione y mantenga presionado el botón de liberación del objetivo a la vez que hace girar el objetivo en el sentido de las agujas del reloj para desacoplarlo.

Utilización de la visera de bayoneta HB-37 ① (Fig. B)

■Instalación de la visera

Alinee el índice de acoplamiento de la visera del objetivo ( ) ② de la visera (cualquiera de los dos índices) con el índice de montaje de la visera del objetivo ④ situado en éste, y gire la visera ① en el sentido de las agujas del reloj hasta que quede fijada con un chasquido.

- Asegúrese de que el índice de montaje de la visera del objetivo ④ se alinea con el índice de ajuste de la visera del objetivo (—○) ③.
- Si la visera del objetivo no está instalada correctamente, puede producirse efectos de viñeteado.
- Para facilitar la colocación o desmontaje de la visera ①, sujétela por la base (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo ②) en lugar de por la parte externa.
- Para guardar la visera del objetivo, instálela en la posición inversa ①.

■Desmontaje de la visera

Mientras sujeta la base de la visera ① (alrededor del índice de acoplamiento de la visera del objetivo ②) y no en su borde exterior, gire la visera en el sentido contrario al de las agujas del reloj para extraerla.

Enfoque, zoom y profundidad de campo

Antes de enfocar, haga girar el anillo del zoom ⑥ para cambiar la distancia focal hasta que la composición deseada quede encuadrada en el visor. Haga girar el anillo del zoom ⑥, en sentido de las agujas del reloj (mirando desde el lateral de la cámara) para hacer fotografías con teleobjetivo y en sentido contrario a las agujas del reloj para hacer fotografías con gran angular. Si la cámara dispone de una palanca o un botón de vista previa de profundidad de campo (cierre de iris), la profundidad de campo puede observarse mientras se mira a través del visor de la cámara. Para más detalles, consulte el manual del usuario de la cámara.
Debido a las características ópticas de este objetivo, según se enfoca más cerca con el objetivo, la distancia focal disminuye ligeramente.

Enfoque (Fig. A)

■Modo de enfoque automático: Ajuste el modo de enfoque de la cámara a AF-A, AF-S o AF-C, y ajuste el interruptor del modo A-M del objetivo ⑪ a [A]. El enfoque automático se obtiene mientras se oprime ligeramente el obturador.

> Tenga cuidado de no tocar el anillo de enfoque ⑤ mientras el mismo esté girando durante la operación de enfoque automático.

■Modo de enfoque manual: Ajuste el interruptor de modo de enfoque A-M ⑪ del objetivo a [M]. Para enfocar, gire manualmente el anillo de enfoque ⑤. El fotografiado es posible cuando el modo de enfoque de la cámara está ajustado en AF o M.

Interruptor de modo A-M ⑪ del objetivo	Modo de enfoque de la cámara	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Enfoque automático	——
M	Enfoque manual (Ayuda de enfoque está disponible.)	

Para más detalles sobre el modo de en enfoque de la cámara, consulte el manual del usuario de la cámara.

- Enfoque manualmente cuando estos adaptador de objetivos estén acoplados.

Modo de reducción de vibración (VR)

Se puede realizar fotografías con velocidades de obturación de aproximadamente 3 pasos* más lento de lo que podría hacerlo sin usar un objetivo VR. También es posible realizar panorámicas. (*Bajo condiciones de medición de Nikon. Los efectos de la reducción de la vibración varían dependiendo de las condiciones individuales y de fotografiado.)

■Ajuste del interruptor de ON/OFF de reducción de vibración

1. Ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ a [ON].
   Nota: Asegúrese de colocar el interruptor ⑫ de forma que el indicador quede perfectamente alineado con [ON].
2. La vibración se reduce en el momento en que se presiona ligeramente el disparador. Como se reduce la vibración en el visor, es más fácil de hacer el enfoque automático/manual y el encuadre exacto del objeto.
3. Para cancelar el modo de reducción de la vibración, ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ a [OFF].

■Notas sobre el uso del modo de reducción de la vibración

- Espere hasta que la imagen en el visor deje de vibrar antes de presionar a fondo el botón de liberación del obturador, habiendo presionado antes ligeramente dicho botón.
- Si mueve la cámara en un arco amplio como el de las panorámicas, la vibración en la dirección de dicho movimiento no se verá afectada. Por ejemplo, si mueve rápidamente la cámara en horizontal, únicamente se reducirá la vibración en la dirección vertical, haciendo que la panorámica sea mucho más suave.
- Debido a las características del mecanismo de reducción de la vibración, la imagen en el visor puede aparecer algo borrosa después de liberarse el obturador. Esto no es una avería.
- No desconecte el interruptor de la cámara a OFF ni extraiga el objetivo de la cámara mientras está funcionando el modo de reducción de la vibración. (En caso contrario, el objetivo puede emitir un ruido vibratorio si la cámara se mueve. Esto no es una avería. Conecte nuevamente el interruptor principal de la cámara para corregirlo.)
- Con las cámaras como los modelos de la serie D300 y D60, la reducción de vibración no funciona mientras el flash incorporado está en periodo de recarga.
- Cuando el objetivo se instala en un trípode, ajuste el interruptor de ON/OFF de reducción de vibración ⑫ en la posición [OFF]. Sin embargo, ajústelo en la posición [ON] si utiliza un trípode sin asegurar el cabezal del mismo, o cuando utilice un pie de cámara.
- Con las cámaras AF que tienen un botón de inicio de enfoque automático (AF-ON), como los modelos de la serie D2 y la serie D300, la reducción de vibración no funciona incluso si se presiona el botón AF-ON.

Ajuste de abertura

Ajuste la abertura en la cámara.

Aberturas variables máximas

Al hacer zoom con el objetivo desde 55mm a 200mm, se reduce la abertura máxima en una f/punto. Sin embargo, no es necesario ajustar la abertura para corregir las exposiciones porque la cámara compensa automáticamente esta variación.

Fotografía con flash utilizando cámaras con un flash incorporado

El viñeteado es el oscurecimiento de las esquinas alrededor de la imagen que ocurre cuando la luz emitida por el flash es obstruida por la visera del objetivo, o el cilindro del objetivo, dependiendo de la distancia focal o de la distancia de disparo.

- Para evitar el viñeteado, no use la visera del objetivo ①.

Cámaras SLR digitales	Distancia focal / distancia de disparo utilizables
Serie D300, D200, D100, D90, D80, serie D70, D5000, D3000, D60, D50, serie D40	No ocurre viñeteado a ninguna distancia foca

Forma de cuidar el objetivo

- Tener cuidado de no manchar o dañar los contactos de la CPU ⑩. • Limpiar la superficie del objetivo con un cepillo soplador. Para eliminar la suciedad o las huellas, utilizar un trapo de algodón suave y limpio o papel especial para objetivos humedecido en etanol (alcohol) o limpiador de objetivos. Limpiar describiendo un movimiento circular del centro hacia fuera, teniendo cuidado de no dejar restos ni tocar otras partes. • No usar en ningún caso disolvente o benceno para limpiar el objetivo ya que podría dañarlo, provocar un incendio o causar problemas sanitarios. • Para proteger al objetivo frontal, está disponible un filtro NC. También una visera del objetivo ① contribuirá a proteger la parte frontal del objetivo. • Al guardar el objetivo en su bolsa flexible, coloque las tapas delantera y trasera de objetivo. El objetivo también puede guardarse cuando la visera del objetivo ① está acoplado en la posición inversa. • No sostenga por la visera del objetivo ① mientras el objetivo esté acoplado a la cámara. • Cuando no se vaya a utilizar el objetivo durante largo tiempo, guardarlo en un lugar fresco y seco para evitar la formación de moho. Guardar el objetivo, además, lejos de la luz solar directa o de productos químicos tales como alcanfor o naftalina. • No mojar el objetivo ni dejarlo caer al agua, ya que se oxidaría y no funcionaría bien. • Algunas partes del objetivo son de plástico reforzado. Para evitar daños, no dejarlo nunca en un lugar excesivamente caliente.

Accesorios estándar

- Tapa frontal de presión a 52 mm LC-52 • Tapa trasera de objetivo LF-1
- Visera de bayoneta HB-37 • Bolsa de objetivo flexible CL-0918

Accesorios opcionales

- Filtros roscados de 52mm

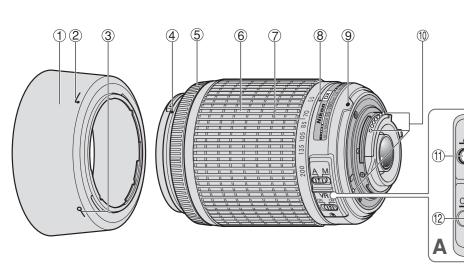
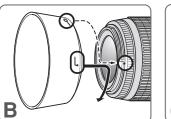
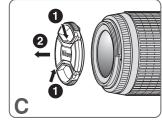
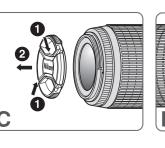
Accesorios incompatibles

- Teleconvertidores (todos los modelos) • Anillo auto BR-4 y todos los modelos de anillo de autoextensión PK, anillo K, accesorio de enfoque de fuelle. • Anillo de fijación SX-1

Hay otros accesorios que pueden ser inadecuados para utilizar con este objetivo. Para más detalles, lea cuidadosamente el manual del usuario de su accesorios.

Especificaciones

Tipo de objetivo: Objetivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporada y montaje de bayoneta Nikon (Diseñado especialmente para utilizar con cámaras digitales SLR de Nikon – formato Nikon DX)
Distancia focal: 55 mm–200 mm
Abertura máxima: f/4-5,6
Estructura del objetivo: 15 lentes en 11 grupos (1 lente ED)
Angulo de imagen: 28˚50´– 8˚
Escala de distancias focales: 55, 70, 85, 105, 135, 200 mm
Información de distancia: Salida al cuerpo de la cámara
Zoom: Manual mediante anillo de zoom independiente
Enfoque: Sistema de enfoque interno de Nikon (IF) (con un motor Silent Wave interno); manual por anillo de enfoque independiente
Reducción de vibración: Método de desplazamiento del objetivo utilizando motores de bobina de voz (VCM)
Distancia de enfoque más cercana: 1,1m (3,6 pies) en todos los ajustes del zoom
Diafragma: Totalmente automático
No. de láminas del diafragma: 7 piezas (redondeadas)
Gama de aperturas: f/4 a f/22 (a 55mm), f/5,6 a f/32 (a 200mm)
Medición de la exposición: Por el método de plena abertura
Tamaño de accesorios: 52 mm (P = 0,75mm)
Dimensiones: Diám. de aprox. 73 mm x 99,5 mm de alargue de la brida de la montura del objetivo de la cámara
Peso: Aprox. 335 g (11,8 onzas)

Las especificaciones y los diseños están sujetos a cambio sin previo aviso ni obligación por parte del fabricante.

① Paraluce
镜头遮光罩
鏡頭遮光罩

② Indice di collegamento del paraluce
镜头遮光罩接头标志
鏡頭遮光罩接頭標誌

③ Indice di regolazione del paraluce
镜头遮光罩设定标志
鏡頭遮光罩設定標誌

④ Indice di montaggio del paraluce
镜头遮光罩安装标志
鏡頭遮光罩安裝標誌

⑤ Anello di messa a fuoco
对焦环
對焦環

⑥ Anello dello zoom
变焦环
變焦環

⑦ Scala della lunghezza focale
焦距刻度
焦距刻度

⑧ Indice della scala della lunghezza focale
焦距刻度标志
焦距刻度標誌

⑨ Tacca di montaggio
安装标志
安裝標誌

⑩ Contatti CPU
CPU触点
CPU觸點

⑪ Interruttore modalità A-M
A-M模式开关
A-M模式開關

⑫ Interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni
减振ON/OFF开关
減振ON/OFF開關

Italiano

Grazie per aver acquistato l'obiettivo AF-S DX VR Zoom-Nikkor 55-200mm f/4-5.6G IF-ED. Le lenti DX Nikkor sono appositamente progettate per essere utilizzate con le fotocamere reflex digitali Nikon (formato Nikon DX), quali le serie D2 e serie D300.
Se l'obiettivo è montato su una fotocamera Nikon formato DX, l'angolo dell'immagine è circa 1,5x della lunghezza focale rispetto al formato 35 mm. Prima di utilizzare l'obiettivo, leggere queste istruzioni e le note sulle operazioni di sicurezza.

Note sulle operazioni di sicurezza

⚠ **ATTENZIONE**

Non smontare
Toccando le parti interne della fotocamera o dell'obiettivo si potrebbero causare dei guasti. Le riparazioni devono essere eseguite solamente da tecnici qualificati.
Qualora, in caso di caduta o di qualsiasi altro incidente, la fotocamera o l'obiettivo dovessero rompersi, portare il prodotto presso un punto di assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione, dopo averlo disinserito dalla presa e/o rimosso la batteria.

In caso di malfunzionamento, disattivare immediatamente la fotocamera
Qualora dalla fotocamera o dall'obiettivo dovesse uscire del fumo o un odore insolito, rimuovere immediatamente la batteria, facendo attenzione a non ustionarsi. Continuando a utilizzare la fotocamera, sussiste il rischio di lesioni.
Dopo aver rimosso o scollegato la fonte di alimentazione, portare il prodotto presso un punto di assistenza Nikon autorizzato per l'ispezione.

Non usare la fotocamera o l'obiettivo in presenza di gas infiammabili
L'utilizzo di apparecchiature elettroniche in presenza di gas infiammabili può causare esplosioni o incendi.

Non guardare il sole in modo diretto attraverso l'obiettivo o il mirino
Guardando in modo diretto il sole o qualsiasi altra fonte intensa di luce, si è soggetti al rischio di indebolimento permanente della vista.

Tenere lontano dalla portata dei bambini
Fare molta attenzione che i bambini non ingeriscano le batterie o altre piccole parti.

Nell'utilizzo della fotocamera e dell'obiettivo, osservare le seguenti precauzioni
- Mantenere la fotocamera e l'obiettivo asciutti. In caso contrario si potrebbe verificare un incendio o scosse elettriche.
- Non maneggiare né toccare la fotocamera o l'obiettivo con le mani bagnate. In caso contrario, si potrebbero verificare scosse elettriche.
- Durante le riprese controluce, non puntare l'obiettivo verso il sole ed evitare che la luce solare passi direttamente attraverso di esso, poiché la fotocamera potrebbe surriscaldarsi ed eventualmente provocare un incendio.
- Se si prevede di non utilizzare l'obiettivo per un periodo prolungato di tempo, montare entrambi i tappi di protezione e riporlo lontano dalla luce diretta del sole. Il mancato rispetto di questa istruzione può causare incendi, poiché l'obiettivo potrebbe concentrare la luce del sole su un oggetto infiammabile.

Caratteristiche principali
- È possibile acquisire immagini alla velocità di scatto circa 3 stop* più lenta rispetto al normale senza utilizzare alcun obiettivo VR, ampliando la gamma di velocità di scatto applicabili e semplificando la ripresa di telefoto mediante treppiede. (*in base alle condizioni di misurazione Nikon. Gli effetti della riduzione delle vibrazioni variano in base alle condizioni generali e di ripresa).
- Questo obiettivo si avvale di un motore Silent Wave per azionare il meccanismo di messa a fuoco, pertanto la messa a fuoco automatica risulta agevole, silenziosa e quasi istantanea. Le modalità di messa a fuoco automatica (A) o manuale (M) possono essere facilmente selezionate attraverso l'interruttore modalità A-M ⑪.
- È possibile ottenere un controllo dell'esposizione più preciso, in quanto le informazioni relative alla distanza dal soggetto sono trasferite dall'obiettivo alla macchina fotografica.
- L'utilizzo di uno elementi ED (dispersione extra-bassa) dell'obiettivo garantisce fotografie nitide, effettivamente prive di frangiatura. Inoltre, utilizzando un diaframma a 7 lame che produce un'apertura quasi circolare, le immagini non a fuoco davanti o dietro al soggetto vengono rese come piacevoli immagini sfocate.

Montaggio dell'obiettivo (Fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera).
1. Disattivare la fotocamera.
2. Rimuovere il tappo posteriore dell'obiettivo (Fig.D).
3. Tenendo la tacca di montaggio ⑨ sull'obiettivo allineata con la tacca di montaggio sul corpo della fotocamera, ruotare l'obiettivo in senso antiorario finché scatti in posizione. Assicurarsi che la tacca di montaggio ⑨ sia sul lato superiore.
4. Rimuovere il coperchio anteriore dell'obiettivo. (Fig. C)

Smontaggio dell'obiettivo (Fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera).
Prima di rimuovere l'obiettivo, disattivare la fotocamera. Premere e tenere premuto il pulsante di rilascio obiettivo ruotandolo in senso orario fino a rimuoverlo.

Utilizzo del paraluce a baionetta HB-37 ① (Fig. B)
■Collegamento del paraluce
Allineare l'indice di collegamento ( ) ② sul paraluce (uno dei due indici) all'indice di montaggio del paraluce ④ sull'obiettivo, quindi ruotare il paraluce ① in senso orario finché si blocchi in posizione.
- Verificare che l'indice di montaggio del paraluce 4 sia allineato all'indice di regolazione del paraluce (—○) ③.
- In caso di paraluce non adeguatamente collegato potrebbe verificarsi una riduzione di luminosità ai margini dell'immagine.
- Per semplificare l'innesto o la rimozione del paraluce ①, afferrarlo dalla propria base (attorno all'indice di collegamento del paraluce ②) e non dai bordi esterni.
- Riporre il paraluce ① innestandolo in posizione invertita.

■Smontaggio del paraluce
Afferrando il paraluce ① dalla base (attorno all'indice di collegamento del paraluce ②) e non dal bordo esterno, ruotarlo in senso antiorario in modo tale da rimuoverlo.

Messa a fuoco, zoom e profondità di campo
Prima di mettere a fuoco, ruotare l'anello dello zoom ⑥ per modificare la lunghezza focale finché nel mirino sia contenuta la composizione desiderata. Per scattare fotografie con il teleobiettivo, ruotare l'anello dello zoom ⑥ in senso orario dal punto di vista del lato della fotocamera; ruotarlo in senso antiorario per scattare fotografie con il grandangolo. Se la vostra fotocamera è dotata di pulsante o leva per l'anteprima della profondità di campo (stop-down), è possibile osservare la profondità di campo guardando nel mirino della fotocamera. Per maggiori dettagli, fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera.
A causa delle caratteristiche ottiche di questo obiettivo, la lunghezza focale si riduce leggermente a distanze di messa a fuoco inferiori.

Messa a fuoco (Fig. A)
■Modalità di messa a fuoco automatica: Impostare la modalità di messa a fuoco della fotocamera su AF-A, AF-S o AF-C e l'interruttore modalità A-M ⑪ su [A]. La messa a fuoco automatica si attiva premendo leggermente il pulsante di rilascio dell'otturatore.

Fare attenzione a non toccare l'anello di messa a fuoco ⑤ mentre ruota durante l'operazione di messa a fuoco automatica.

■Modalità di messa a fuoco manuale: Impostare l'interruttore della modalità A-M ⑪ dell'obiettivo su [M]. Per mettere a fuoco, ruotare manualmente l'apposito anello ⑤. È possibile effettuare riprese fotografiche quando la modalità di messa a fuoco della fotocamera è impostata su AF o su M.

Interruttore modalità A-M ⑪ dell'obiettivo	Modalità di messa a fuoco della fotocamera	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	Messa a fuoco automatica	—
M	Messa a fuoco manuale (disponibile un aiuto per la messa a fuoco)	

Per ulteriori dettagli sulla modalità di messa a fuoco della fotocamera, fare riferimento al manuale d'uso della fotocamera.
- Con questo tipo di lenti addizionali, mettere a fuoco manualmente.

Modalità di riduzione delle vibrazioni (VR)
È possibile acquisire immagini alla velocità di scatto di circa 3 stop* più lenta rispetto al normale senza utilizzare alcun obiettivo VR. È inoltre possibile effettuare riprese panoramiche. (*in base alle condizioni di misurazione Nikon. Gli effetti della riduzione delle vibrazioni variano in base alle condizioni generali e di ripresa).

■Impostazione dell'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni
1 Impostare l'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni ⑫ su [ON].
Nota: impostare l'interruttore ⑫ in modo tale che l'indicatore sia allineato in modo preciso con il simbolo [ON].
2 Per ridurre le vibrazioni, premere leggermente il pulsante di scatto. Siccome le vibrazioni sono ridotte nel mirino, risultano semplificate sia la messa a fuoco automatica/manuale, sia l'esatta inquadratura del soggetto.
3 Per uscire dalla modalità di riduzione delle vibrazioni, impostare l'interruttore di ON/OFF delle riduzione delle vibrazioni ⑫ su [OFF].

■Note circa l'uso della modalità di riduzione delle vibrazioni
- Attendere finché l'immagine visualizzata nel mirino arresti le vibrazioni, premere leggermente il pulsante di scatto, quindi premerlo a fondo.
- Spostando la fotocamera ad ampio raggio come durante lésecuzione ad inseguimento panning, la vibrazione nella direzione del movimento non sarà influenzata. Ad esempio, effettuando un panning con la fotocamera in orizzontale, si ridurrà solamente la vibrazione in senso verticale, semplificandone quindi l'acquisizione.
- Per le caratteristiche del meccanismo di riduzione delle vibrazioni, dopo aver rilasciato il pulsante di scatto, l'immagine nel mirino potrebbe apparire leggermente sfocata. Non si tratta di un malfunzionamento.
- Non spegnere la fotocamera né rimuovere l'obiettivo dalla fotocamera mentre è in funzione la modalità di riduzione della vibrazione. (In caso contrario, qualora la fotocamera vibri, l'obiettivo potrebbe emettere un rumore battente. Questo non è da vedere come malfunzionamento. Per rimediare a questo inconveniente, riaccendere (ON) la macchina fotografica.)
- Utilizzando fotocamere tipo la serie D300 e D60, la riduzione delle vibrazioni non sarà attiva durante il funzionamento del flash incorporato.
- Nel caso in cui l'obiettivo sia montato su un treppiede, impostare l'interruttore di ON/OFF della riduzione delle vibrazioni ⑫ su [OFF]. Tuttavia, qualora si utilizzi un treppiede senza fissarne la parte superiore, o qualora si utilizzi un cavalletto monopiede, impostare l'interruttore su [ON].
- Con le fotocamere AF dotate di tasto di avvio AF (AF-ON), tipo la serie D2 e la serie D300, la riduzione delle vibrazioni non sarà attiva anche dopo aver premuto il tasto AF-ON.

Impostazione dell'apertura
Impostare l'apertura indicata sul corpo della fotocamera.

Apertura massima variabile
Lo zoom dell'obiettivo da 55 mm a 200 mm comporta una diminuizione dell'apertura di un f/stop. Tuttavia, non è necessario regolare l'apertura per un'esposizione corretta poichè la fotocamera possiede un dispositivo di compensazione automatica.

Fotografie con flash usando fotocamere con flash incorporato
La vignettatura è la riduzione della luminosità ai margini dell'immagine che si verifica quando la luce emessa dal flash è ostacolata dal paraluce o dal barilotto, in base alla lunghezza focale o alla distanza di ripresa.
- Per evitare l'effetto vignettatura, non utilizzare il paraluce ①.

Reflex digitali	Lunghezza focale/distanza di scatto utilizzabili
Serie D300, D200, D100, D90, D80, serie D70, D5000, D3000, D60, D50, serie D40	Nessuna lunghezza focale causa l'effetto vignettatura

Cura e manutenzione dell'obiettivo
• Fate attenzione a non sporcare o danneggiare i contatti CPU ⑩. • Pulite la superficie delle lenti con un pennello a pompetta. Per rimuovere impronte e macchie, fate uso di un fazzoletto di cotone, soffice e pulito, o di una cartina ottica leggermente imbevuti con alcool o con l'apposito liquido "lens cleaner". Strofinate delicatamente con movimento circolare dal centro verso l'esterno, facendo attenzione a non lasciare tracce o toccare altre parti. • Per la pulizia non utilizzate mai solventi o benzina, che potrebbero danneggiare l'obiettivo, causare incendi o problemi di intossicazione. • Il filtro NC è utile per proteggere l'elemento anteriore dell'obiettivo. Anche il paraluce ① contribuisce validamente a proteggere la parte anteriore dell'obiettivo. • Prima di riporre l'obiettivo nella relativa custodia flessibile, montare entrambi i coperchi anteriore e posteriore. L'obiettivo può inoltre essere riposto con il paraluce ① montato al contrario. • Si consiglia di non reggere l'obiettivo dal paraluce ① quando l'obiettivo è installato sulla fotocamera. • Se rimane a lungo inutilizzato, riponetelo in un ambiente fresco e ventilato per prevenire la formazione di muffe. Tenetelo inoltre lontano dal sole o da agenti chimici come canfora o naftalina. • Non bagnatelo e fate attenzione che non cada in acqua. La formazione di ruggine potrebbe danneggiarlo in modo irreparabile. • Alcune parti della montatura sono realizzate in materiale plastico rinforzato. Per evitare danni non lasciate mai l'obiettivo in un luogo eccessivamente caldo.

Accessori in dotazione
• Tappo anteriore da 52mm dia. LC-52 • Tappo posteriore LF-1 • Paraluce a baionetta HB-37
• Portaobiettivo morbido CL-0918

Accessori opzionali
• Filtri a vite da 52 mm

Accessori non utilizzabili
• Teleconvertitori (tutti i modelli) • L'Anello Auto BR-4, tutti i modelli di Anelli di Prolunga Automatica PK, gli anelli K e i dispositivi di messa a fuoco a soffietto. • Supporto attacco obiettivo SX-1
Gli altri accessori possono non essere adatti per l'uso con questo obiettivo. Per ulteriori informazioni, leggere attentamente il manuale d'uso degli accessori.

Caratteristiche tecniche
Tipo di obiettivo: Obiettivo AF-S DX Zoom-Nikkor tipo G con CPU incorporato e attacco a baionetta Nikon (appositamente progettato per essere utilizzato con le fotocamere reflex digitali – Nikon formato DX –)
Lunghezza focale: 55 mm–200 mm
Apertura massima: f/4-5,6
Costruzione obiettivo: 15 elementi in 11 gruppi (1 elemento obiettivo ED)
Angolo di campo: 28˚50´– 8˚
Scala della lunghezza focale: 55, 70, 85, 105, 135, 200 mm
Dati distanze: Uscita verso il corpo fotocamera
Zoom: Manuale mediante anello dello zoom separato
Messa a fuoco: Sistema di messa a fuoco interna (IF) Nikon (utilizza un motore interno Silent Wave); manuale mediante anello di messa a fuoco separato
Riduzione delle vibrazioni: Metodo di decentramento lenti utilizzando i motori a bobina voice coil (VCMs)
Distanza focale minima: 1,1m in tutte le impostazioni di zoom
Nr. delle lamelle diaframma: 7 pz. (arrotondati)
Diaframma: Completamente automatico
Gamma di apertura: Da f/4 a f/22 (a 55 mm), da f/5,6 a f/32 (a 200 mm)
Misurazione dell'esposizione: Attraverso il metodo di apertura massima
Misura dell'accessorio: 52 mm (P = 0,75mm)
Dimensioni: Estensione di 73 mm x 99,5 mm dia., circa, dalla flangia di montaggio obiettivo della fotocamera
Peso: Circa 335 g

Le specifiche e i disegni sono soggetti a modifica senza preavviso o obblighi da parte del produttore.

中国语

使用产品前请仔细阅读本使用说明书，并请妥善保管。

安全须知
请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。本“安全须知”中记载了重要的内容，可使您能够安全、正确地使用产品，并预防对您或他人造成人身伤害或财产损失。请在阅读之后妥善保管，以便本产品的所有使用者可以随时查阅。

有关指示
本节中标注的指示和含义如下。

⚠ **警告** 表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员死亡或负重伤的内容。
⚠ **注意** 表示若不遵守该项指示或操作不当，则有可能造成人员伤害、以及有可能造成物品损害的内容。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作分类和说明。

图示和符号的实例
△ 符号表示唤起注意（包括警告）的内容。
在图示中或图示附近标有具体的注意内容（左图之例为当心触电）。
⃠ 符号表示禁止（不允许进行的）的行为。
在图示中或图示附近标有具体的禁止内容（左图之例为禁止拆卸）。
● 符号表示强制执行（必需进行）的行为。
在图示中或图示附近标有具体的强制执行内容（左图之例为取出电池）。

⚠ 警告

禁止拆卸	**切勿自行拆卸、修理或改装。** 否则将会造成触电、发生故障并导致受伤。
禁止触碰 / 立即委托修理	**当产品由于跌落而破损使得内部外露时，切勿用手触碰外露部分。** 否则将会造成触电、或由于破损部分而导致受伤。取出照相机电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
取出电池 / 立即委托修理	**当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻取出照相机电池。** 若在此情况下继续使用，将会导致火灾或灼伤。取出电池时，请小心勿被烫伤。取出电池，并委托经销商或尼康授权的维修服务中心进行修理。
禁止接触水	**切勿浸入水中或接触到水，或被雨水淋湿。** 否则将会导致起火或触电。
禁止使用	**切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。** 在有丙烷气、汽油等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将会导致爆炸或火灾。
禁止观看	**切勿用镜头或照相机直接观看太阳或强光。** 否则将会导致失明或视觉损伤。

⚠ 注意

当心触电	**切勿用湿手触碰。** 否则将有可能导致触电。
禁止放置	**切勿在婴幼儿伸手可及之处保管产品。** 否则将有可能导致受伤。
小心使用	**进行逆光摄影时，务必使太阳充分偏离画角。** 阳光会在照相机内部聚焦，并有可能导致火灾。太阳偏离画角的距离微小时，也有可能会导致火灾。
妥善保存	**不使用时请盖上镜头盖，或保存在没有阳光照射处。** 阳光会聚焦，并有可能导致火灾。
小心移动	**进行移动时，切勿将照相机或镜头安装在三脚架上。** 摔倒、碰撞时将有可能导致受伤。
禁止放置	**切勿放置于封闭的车辆中、直射阳光下或其它异常高温之处。** 否则将对内部零件造成不良影响，并导致火灾。

感谢您购买 AF-S DX VR 变焦尼克尔 55-200mm f/4-5.6G IF-ED 镜头 。DX 尼克尔镜头是专为尼康 DX 格式数码单反照相机、D2 系列和 D300 系列而设计的 。安装在尼康 DX 格式相机时，相机镜头的画角相当于 35mm 胶片相机约 1.5 倍焦距 。

主要特点
- 与不带 VR 功能的镜头相比，可以相当于快门速度加快三档* 后的效果进行拍摄 。扩大了快门速度的可用范围，使得在不使用三脚架时用不同的焦段进行摄影更加方便 。
（* 于尼康测试环境条件下 。减振效果视个体和拍摄环境不同而异 。）
- 本镜头采用宁静波动马达驱动对焦装置，其自动对焦过程流畅、安静，几乎一瞬间就能完成 。提供 A-M 模式开关 ①，可以方便地选择自动对焦（A）或手动对焦（M）操作 。
- 还可以进行更精确的曝光控制，因为这时镜头会将主体距离的信息传送到相机侧 。
- 采用一片 ED（超低色散）镜片单元可有效地消除彩色边纹确保图像清晰 。同时，又采用 7 叶片形成一个近乎圆形的光圈开孔，使主体前后焦点之外的景物形成舒心悦目的模糊影像 。

安装镜头（请参照相机使用说明书）
1. 关闭相机 。
2. 移除后镜盖（图 D）。
3. 保持镜头上的安装标志 ⑨ 与相机机身上的安装记号对准，逆时针旋转镜头，直到听到“咔嗒”一声为止 。确保安装标志 ⑨ 在最上边 。
4. 移除前镜盖（图 C）。

拆除镜头（请参照相机使用说明书）
移除镜头时，务必要关闭相机 。按下并按住镜头释放按钮，顺时针旋转镜头直到拆卸下来为止 。

使用卡口式镜头遮光罩 HB-37①（图 B）
■ 安装镜头遮光罩
将镜头遮光罩 ① 上的镜头遮光罩接头标志（ ）②（两个标志之一）对准镜头上的镜头遮光罩安装标志 ④，然后顺时针旋转镜头遮光罩 ①，直至听到咔嗒声转不动为止 。
- 确认镜头遮光罩安装标志 ④ 对准镜头遮光罩设定标志（—○）③。
- 若未正确安装镜头遮光罩 ①，会产生光晕 。
- 为了便于装卸镜头遮光罩 ①，应抓住其底座（镜头遮光罩接头标志 ② 部分）而不是外缘 。
- 存放镜头遮光罩 ① 时，要反方向装在相机上 。

■ 拆除镜头遮光罩
按住镜头遮光罩 ① 的底部（靠近镜头遮光罩接头标志 ②）而不是它的外边缘，然后逆时针旋转，拆除镜头遮光罩 ①。

对焦、变焦与景深
对焦前先转动变焦环⑥以改变焦距，直至在取景窗框架内获得满意的构图。顺时针（从相机一侧看）转动变焦环⑥可进行远距离摄影，而逆时针转动可进行广角摄影。如果您的相机上有景深预览（定格）钮或拨杆，则可通过相机取景器观看景深。有关更多的详细信息，请参阅相机的使用说明书 。由于本镜头是光学字符读出，近距离对焦时，焦距可稍微缩短 。

对焦（图 A）
■ 自动对焦模式：将相机的对焦模式设定为 AF-A、AF-S 或 AF-C，并将镜头的 A-M 模式开关 ⑪ 设定为[A]。在轻按快门释放钮后即提供自动对焦 。

在自动对焦操作期间对焦环转动时，小心不要触及对焦环 ⑤。

■ 手动对焦模式：将镜头的 A-M 模式开关 ⑪ 设定为[M]。手动旋转对焦环 ⑤ 以进行对焦 。当相机的对焦模式设定为 AF 或 M 时，可以进行拍摄 。

镜头的A-M 模式开关⑪	相机的对焦模式	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	自动对焦	
M	手控对焦（有辅助对焦功能）	

有关相机对焦模式的详细内容，请参阅您的相机使用说明书。
- 安装微距镜头后请使用手动对焦 。

减振模式（VR）
使用减振模式（VR）能够以相当于快门速度加快三档 * 后的效果进行拍摄 。也可进行摇镜拍摄 。（* 于尼康测试环境条件下 。减振效果视个体环境和拍摄环境不同而异 。）

■ 设定减振 ON/OFF 开关
1 将减振 ON/OFF 开关 ⑫ 设为〔ON〕。注意：请务必按照指示器对准〔ON〕设定开关 ⑫。
2 轻按快门按钮时，振动被减弱。由于取景器中的振动减少，自动/手动对焦及对主体取景构图都变得较容易 。
3 要取消减振模式时，请将减振 ON/OFF 开关 ⑫ 设为〔OFF〕。

■ 有关使用减振模式功能的注解
- 轻按快门释放钮后，等取景器中的影像停止振动后再完全按下快门释放钮 。
- 摇镜拍摄时如果将相机作较大的弧形移动，在移动方向上的振动将不受影响 。例如，如果沿水平方向摇镜拍摄，则仅减少垂直方向的振动，可更顺利地进行摇镜拍摄 。
- 由于减振机构特征的缘故，快门起动过后，取景器内的影像可能会变得模糊。此并非故障。
- 在减振模式有效时，请不要关闭相机电源或从相机拆下镜头 。（否则相机晃动时，镜头可能会发出咔嗒声 。此并非故障 。只需重新开启相机电源就可恢复正常 。）
- 使用如 D300 系列及 D60 型号相机时，内置闪光灯充电时减振功能不起作用 。
- 将镜头装在三脚架上时，应将减振 ON/OFF 开关 ⑫ 设定为〔OFF〕（关）。但是，当将镜头安装在三脚架上而未固定三脚架头时或使用单脚机架时，请将减振 ON/OFF 开关设定为〔ON〕（开）。
- 对于具有 AF 启用（AF-ON）按钮的 AF 相机（如 D2 系列 、D300 系列），即使按下 AF-ON 钮减振也不起作用 。

光圈设定
在相机机身上设定光圈 。

可变最大光圈
镜头从 55mm 变焦至 200mm 时最大光圈会减少 1 级 。但您无需为获得正确曝光而调整光圈，因为相机会自动对此差异进行补偿 。

使用带内置闪光灯的相机拍摄闪光照片
光晕是指闪光灯发出的灯光因焦距的差异被镜头罩或镜筒遮住时，图像的周边出现的变黑现象。
- 为了防止光晕现象，请不要使用镜头遮光罩 ①。

数码单反照相机	有效焦距 / 拍摄距离
D300系列、D200、D100、D90、D80、D70系列、D5000、D3000、D60、D50、D40系列	在任何焦距均不发生光晕

镜头的维护保养
- 小心不要弄脏或弄坏 CPU（中央处理器）接点 ⑪。
- 使用吹风刷清扫镜头表面 。如想清除镜头上的污垢时，请用柔软干净的棉布或镜头清洁纸沾点酒精或镜头清洁液擦拭 。在擦拭镜头时，请绕着圆圈自中心向周围擦拭，注意不要在镜片上留下痕迹或碰撞外部的部件 。
- 切勿使用稀释剂或苯溶液去清洁镜头，因为有可能损伤镜头，或造成火灾，或损害健康 。
- 为了保护前镜头元件，可以使用NC滤光镜。镜头的遮光罩①也有助于保护镜头的前镜片。
- 当把镜头保存在柔性镜头袋中时，请盖好前镜头盖和后镜头盖 。当镜头遮光罩 ① 被反方向安装时也可以保存镜头 。
- 请勿在镜头被安装在相机上时抓握镜头遮光罩 ①。
- 当镜头准备长时间不用时，一定要保存在凉爽干燥的地方以防生霉 。而且，不可放在阳光直接照射或放有化学药品樟脑或卫生丸等的地方 。
- 注意不要溅水于镜头上或落到水中，因为将会生锈而发生故障 。
- 镜头的一部分部件采用了强化塑料 。不要把镜头放置在高温的地方，以免损坏 。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏 。

标准配件
● 52mm 按扣式前镜盖 LC-52 ● 后镜盖 LF-1 ● 卡口式镜头遮光罩 HB-37 ● 柔性镜头袋 CL-0918

选购配件
● 52mm 旋入式滤色镜

不兼容的配件
- 望远倍率镜 （所有型号）
- 自动环 BR-4 及各式自动延伸环 PK，K 环，和伸缩对焦镜腔附件 。
- 附件环 SX-1

其他附件也有不宜用于本镜头的 。具体细节请参阅您的附件的使用说明书 。

规格
镜头类型：G 型 AF-S DX 变焦尼克尔镜头内装有 CPU 中央处理器和尼康卡口座〔专为与尼康 DX 格式数码单反照相机一起使用〕。
焦距：55mm 到 200mm
最大光圈：f/4-f/5.6
镜头构造：11 个组群中有 15 个元件（1 个 ED 镜头元件）
画角：28° 50' ~ 8°
焦距刻度：55、70、85、105、135、200mm
距离信息：输入至机身
变焦：通过独立变焦环手动对焦
对焦：尼康内部对焦（IF）系列（使用内部宁静波动马达）通过独立变焦环手动对焦
减振：利用音圈马达（VCMs）镜头偏移法
最近拍摄距离：所有变焦镜头的最近焦距均为 1.1m
光圈叶片数：7 片（圆形）
光圈：全自动
光圈范围：f/4 至 f/22（在 55mm 时），f/5.6 至 f/32（在 200mm 时）
曝光测量：全开光圈测光
安装：52mm（P=0.75mm）
尺寸：直径约为 73 毫米，镜头长 99.5 毫米，自相机镜头安装盘算起
重量：约 335g

产品设计与规格如有更改，恕不另行通知 。

相机及相关产品中有毒有害物质或元素的名称、含量及环保使用期限说明

环保使用期限	部件名称	铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
10	1 相机外壳和镜筒（金属制）	×	○	○	○	○	○
	1 相机外壳和镜筒（塑料制）	○	○	○	○	○	○
	2 机械元件	×	○	○	○	○	○
	3 光学镜头、棱镜、滤镜玻璃	○	○	○	○	○	○
	4 电子表面装配元件（包括电子元件）	×	○	○	○	○	○
	5 机械元件，包括螺钉、包括螺母和垫圈等	○	○	○	○	○	○

（有毒有害物质或元素）

注：有毒有害物质或元素标识说明
○表示该有毒有害物质或元素在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。
×表示该有毒有害物质或元素至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使相机相关产品完全不含有上述有毒有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令2002/95/EC》的豁免范围之内。
环保使用期限
此标志的数字是基于中华人民共和国电子信息产品污染控制管理办法及相关标准，表示该产品的环保使用期限的年数。请遵守产品的安全及使用注意事项，并在产品使用后根据各地的法律、规定以适当的方法回收再利用或废弃处理本产品。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市西藏中路268 号来福士广场50 楼01-04 室，200001）
尼康客户支持中心服务热线：4008-201-665（周一至周日9:00–18:00）
http://www.nikon.com.cn/
原产地：中国
在中国印刷
出版日期：2009年10月1日

中國語

感謝您購買 AF-S DX VR 變焦尼克爾 55-200mm f/4-5.6G IF-ED 鏡頭。DX 尼克爾鏡頭是專為尼康數碼單鏡反光相機（尼康 DX 格式）、D2 系列和 D300 系列而設計的。安裝在尼康 DX 格式相機時，相機鏡頭的畫角相當於 35mm 膠片相機約 1.5 倍焦距。在使用本鏡頭前，請仔細閱讀本使用說明書及安全操作注意事項。

安全操作注意事項
⚠ **警告**

勿自行拆除
觸摸相機或鏡頭的內部零件可能會導致受傷。僅能由合格維修技師修理。如果由於掉落或其它事故導致相機或鏡頭拆散，在切斷產品電源和（或）取出電池後，請將產品送至尼康授權的維修中心進行檢查。

發生故障時立刻關閉電源
如果您發現相機或鏡頭冒煙或發出異味，請立刻取出電池，注意避免燙傷。若繼續使用可能導致受傷。
取出電池或切斷電源後，請將產品送到尼康授權的維修中心進行檢查。

勿在易燃氣體環境中使用相機或鏡頭
如果在易燃氣體環境中使用電子設備，可能會導致爆炸或火災。

勿通過鏡頭或觀景器觀看太陽
通過鏡頭或觀景器觀看太陽或其它強光，可能會導致永久性的視覺損傷。

請勿在兒童伸手可及之處保管本產品
請特別注意避免嬰幼兒將電池或其它小部件放入口中。

使用相機和鏡頭時應注意以下事項
- 保持相機和鏡頭乾燥。否則可能導致火災或引起電擊。
- 請勿以濕手操作或觸摸相機或鏡頭。否則可能會導致電擊。
- 背光拍攝時，請勿使鏡頭朝向太陽，或者使陽光直接通過鏡頭，因為這可能導致相機過熱，引起火災。
- 當鏡頭長時間不用時，請蓋上鏡頭的前蓋和後蓋，並且存放鏡頭時應避免陽光直射。否則可能會導致火災，因為鏡頭可能會使陽光聚焦於易燃物。

主要特點
- 与不帶 VR 功能的鏡頭相比，可以相當于快門速度加快三檔 * 後的效果進行拍攝。擴大了快門速度的可用範圍，使得在不使用三腳架時用不同的焦段進行攝影更加方便。
（* 於尼康測試環境條件下。減振效果視個體和拍攝環境不同而異。）
- 本鏡頭采用宁靜波動馬達驅動對焦裝置，其自動對焦過程流暢、安靜，几乎一瞬間就能完成。提供 A-M 模式開關 ①，可以方便地選擇自動對焦（A）或手動對焦（M）操作。
- 還可以進行更精確的曝光控制，因為這時鏡頭會將主體距離的信息傳送到相機側。
- 采用一片 ED（超低色散）鏡片單元可有效地消除彩色邊紋確保圖像清晰。同時，又采用 7 葉片形成一個近乎圓形的光圈開孔，使主體前後焦點之外的景物形成舒心悅目的模糊影像。

安裝鏡頭（請參照相機使用說明書）
1. 關閉相機。
2. 移除後鏡蓋（圖 D）。
3. 保持鏡頭上的安裝標志 ⑨ 與相機機身上的安裝記號對準，逆時針旋轉鏡頭，直到聽到“咔嗒”一聲為止。確保安裝標志 ⑨ 在最上邊。
4. 移除前鏡蓋（圖 C）。

拆除鏡頭（請參照相機使用說明書）
移除鏡頭時，務必要關閉相機。按下并按住鏡頭釋放按鈕，順時針旋轉鏡頭直到拆卸下來為止。

使用卡口式鏡頭遮光罩 HB-37①（圖 B）
■ 安裝鏡頭遮光罩
將鏡頭遮光罩 ① 上的鏡頭遮光罩接頭標誌（ ）②（兩個標誌之一）對準鏡頭上的鏡頭遮光罩安裝標誌 ④，然後順時針旋轉鏡頭遮光罩 ①，直至聽到咔嗒聲轉不動為止。
- 確認鏡頭遮光罩安裝標誌 ④ 對準鏡頭遮光罩設定標誌（—○）③。
- 若未正確安裝鏡頭遮光罩 ①，會產生光暈。
- 為了便於裝卸鏡頭遮光罩 ①，應抓住其底座（鏡頭遮光罩接頭標誌 ② 部分）而不是外緣。
- 存放鏡頭遮光罩 ① 時，要反方向裝在相機上。

■ 拆除鏡頭遮光罩
按住鏡頭遮光罩 ① 的底部（靠近鏡頭遮光罩接頭標誌 ②）而不是它的外邊緣，然後逆時針旋轉，拆除鏡頭遮光罩 ①。

對焦、變焦與景深
對焦前先轉動變焦環 ⑥ 以改變焦距，直至在取景窗框架內獲得滿意的構圖。順時針（從相機一側看）轉動變焦環 ⑥ 可進行遠距離攝影，而逆時針轉動可進行廣角攝影。如果您的相機上有景深預覽（定格）鈕或撥杆，則可通過相機取景器觀看景深。有關更多的詳細信息，請參閱相機的使用說明書。由於本鏡頭是光學字符讀出，近距離對焦時，焦距可稍微縮短。

對焦（圖 A）
■ 自動對焦模式：將相機的對焦模式設定為 AF-A 、AF-S 或 AF-C，并將鏡頭的 A-M 模式開關 ⑪ 設定為[A]。在輕按快門釋放鈕後即提供自動對焦。

在自動對焦操作期間對焦環轉動時，小心不要觸及對焦環 ⑤。

■ 手動對焦模式：將鏡頭的 A-M 模式開關 ⑪ 設定為[M]。手動旋轉對焦環 ⑤ 以進行對焦。當相機的對焦模式設定為 AF 或 M 時，可以進行拍攝。

鏡頭的A-M 模式開關⑪	相機的對焦模式	
	AF-A/AF-S/AF-C	M
A	自動對焦	
M	手控對焦（有輔助對焦功能）	

有關相機對焦模式的詳細內容，請參閱您的相機使用說明書。
- 安裝微距鏡頭後請使用手動對焦。

減振模式（VR）
使用減振模式（VR）能夠以相當於快門速度加快三檔*後的效果進行拍攝。也可進行搖鏡拍攝。（* 於尼康測試環境條件下。減振效果視個體環境和拍環境不同而異。）

■ 設定減振 ON/OFF 開關
1 將減振 ON/OFF 開關 ⑫ 設為〔ON〕。注意：請務必按照指示器對準〔ON〕設定開關 ⑫。
2 輕按快門按鈕時，振動被減弱。由於取景器中的振動減少，自動 / 手動對焦及對主體取景構圖都變得較容易。
3 要取消減振模式時，請將減振 ON/OFF 開關 ⑫ 設為〔OFF〕。

■ 有關使用減振模式功能的注解
- 輕按快門釋放鈕後，等取景器中的影像停止振動後再完全按下快門釋放鈕。
- 搖鏡拍攝時如果將相機作較大的弧形移動，在移動方向上的振動將不受影響。例如，如果沿水平方向搖鏡拍攝，則僅減少垂直方向的振動，可更順利地進行搖鏡拍攝。
- 由於減振機構特徵的緣故，快門起動過後，取景器內的影像可能會變得模糊。此並非故障。
- 在減振模式有效時，請不要關閉相機電源或從相機拆下鏡頭。（否則相機晃動時，鏡頭可能會發出咔嗒聲。此並非故障。只需重新開啟相機電源就可恢復正常。）
- 使用如 D300 系列及 D60 型號相機時，內置閃光燈充電時減振功能不起作用。
- 將鏡頭裝在三腳架上時，應將減振 ON/OFF 開關 ⑫ 設定為〔OFF〕（關）。但是，當將鏡頭安裝在三腳架上而未固定三腳架頭時或使用單腳機架時，請將減振ON/OFF開關設定為〔ON〕（開）。
- 對於具有 AF 啟用（AF-ON）按鈕的 AF 相機（如 D2 系列、D300 系列），即使按下 AF-ON 鈕減振也不起作用。

光圈設定
在相機機身上設定光圈。

可變最大光圈
鏡頭從 55mm 變焦至 200mm 時最大光圈會減少 1 級。但您無需為獲得正確曝光而調整光圈，因為相機會自動對此差異進行補償。

使用帶內置閃光燈的相機拍攝閃光照片
光暈是指閃光燈發出的燈光因焦距的差異被鏡頭罩或鏡筒遮住時，圖像的周邊出現的變黑現象。
- 為了防止光暈現象，請不要使用鏡頭遮光罩 ①。

數碼單鏡反光相機	有效焦距 / 拍攝距離
D300系列、D200、D100、D90、D80、D70系列、D5000、D3000、D60、D50、D40系列	在任何焦距均不發生光暈

鏡頭的維護保養
- 小心不要弄髒或弄壞 CPU（中央處理器）接點 ⑪。
- 使用吹風刷清掃鏡頭表面。如想清除鏡頭上的污垢時，請用柔軟乾淨的棉布或鏡頭清潔紙沾點酒精或鏡頭清潔液擦拭。在擦拭鏡頭時，請繞著圓圈自中心向周圍擦拭，注意不要在鏡片上留下痕跡或碰撞外部的部件。
- 切勿使用稀釋劑或苯溶液去清潔鏡頭，因為有可能損傷鏡頭，或造成火災，或損害健康。
- 為了保護前鏡頭元件，可以使用 NC 濾光鏡。鏡頭的遮光罩①也有助於保護鏡頭的前鏡片。
- 當把鏡頭保存在柔性鏡頭袋中時，請蓋好前鏡頭蓋和後鏡頭蓋。當鏡頭遮光罩①被反方向安裝時也可以保存鏡頭。
- 請勿在鏡頭被安裝在相機上時抓握鏡頭遮光罩 ①。
- 當鏡頭準備長時間不用時，一定要保存在涼爽乾燥的地方以防生黴。而且，不可放在陽光直接照射或放有化學藥品樟腦或衛生丸等的地方。
- 注意不要濺水於鏡頭上或落到水中，因為將會生鏽而發生故障。
- 鏡頭的一部分部件採用了強化塑料。不要把鏡頭放置在高溫的地方，以免損壞。

標準配件
● 52mm 按扣式前鏡蓋 LC-52 ● 後鏡蓋 LF-1 ● 卡口式鏡頭遮光罩 HB-37 ● 柔性鏡頭袋 CL-0918

選購配件
● 52mm 旋入式濾色鏡

不兼容的配件
- 望遠倍率鏡 （所有型號）
- 自動環 BR-4 及各式自動延伸環 PK，K 環，和伸縮對焦鏡腔附件。
- 附件環 SX-1

其他附件也有不宜用於本鏡頭的。具體細節請參閱您的附件的使用說明書。

規格
鏡頭類型：G 型 AF-S DX 變焦尼克爾鏡頭內裝有 CPU 中央處理器和尼康卡口座〔專為與尼康數碼單鏡反光相機（尼康 DX 格式相機）一起使用〕。
焦距：55mm 到 200mm
最大光圈：f/4-f/5.6
鏡頭構造：11 個組群中有 15 個元件（1 個 ED 鏡頭元件）
畫角：28˚ 50' ～ 8˚
焦距刻度：55 、70 、85 、105 、135 、200mm
距離信息：輸入至機身
變焦：通過獨立變焦環手動對焦
對焦：尼康內部對焦（IF）系列（使用內部宁靜波動馬達）通過獨立變焦環手動對焦
減振：利用音圈馬達（VCMs）鏡頭偏移法
最近拍攝距離：所有變焦鏡頭的最近焦距均為 1.1m
光圈葉片數：7 片（圓形）
光圈：全自動
光圈範圍：f/4 至 f/22（在 55mm 時），f/5.6 至 f/32（在 200mm 時）
曝光測量：全開光圈測光
安裝：52mm（P=0.75mm）
尺寸：直徑約為 73 毫米，鏡頭長 99.5 毫米，自相機鏡頭安裝盤算起
重量：約 335g

產品設計與規格如有更改，恕不另行通知。